

**敦賀発電所2号炉
敷地の地形, 地質・地質構造について
参考資料(2/3)
性状一覧表**

**平成29年12月22日
日本原子力発電株式会社**

余白

目次(参考資料(2／3) 性状一覧表)

分類項目	頁	断層名 及び 破碎帯名	頁
浦底断層	参考2-5	浦底断層	参考2- 26
D-1破碎帯	参考2-27	D-1	参考2- 40
K断層	参考2-41	K断層	参考2- 53
D-5,6,14破碎帯	参考2-54	D-6	参考2- 61
		D-14	参考2- 67
		D-5	参考2- 75
H-3a破碎帯	参考2-76	H-3a	参考2- 81
D-2～D-16破碎帯	参考2-82	D-2	参考2- 87
		D-3	参考2- 88
		D-4	参考2- 90
		D-7	参考2- 91
		D-11	参考2- 91
		D-12	参考2- 91
		D-13	参考2- 92
		D-15	参考2- 93
		D-16	参考2- 93
D-17～D-28破碎帯	参考2-94	D-17	参考2- 98
		D-18	参考2- 98
		D-19	参考2- 99
		D-20	参考2- 101
		D-21	参考2- 102
		D-22	参考2- 102
		D-23	参考2- 103
		D-24	参考2- 103
		D-25	参考2- 104
		D-26	参考2- 105
		D-27	参考2- 106
		D-28	参考2- 106

分類項目	頁	断層名 及び 破碎帯名	頁
D-29～D-47破碎帯	参考2-107	D-29	参考2- 111
		D-30	参考2- 111
		D-31	参考2- 111
		D-32	参考2- 112
		D-33	参考2- 112
		D-34	参考2- 113
		D-35	参考2- 114
		D-36	参考2- 115
		D-37	参考2- 116
		D-38	参考2- 116
		D-39	参考2- 117
		D-41	参考2- 117
		D-42	参考2- 118
		D-43	参考2- 118
		D-44	参考2- 119
		D-45	参考2- 119
		D-46	参考2- 119
		D-47	参考2- 120

分類項目	頁	断層名 及び 破碎帯名	頁
f-2-3～f-20-11 破碎帯	参考2-121	f-2-3	参考2- 125
		f-2-7	参考2- 125
		f-2-8	参考2- 125
		f-2-10	参考2- 125
		f-2-11	参考2- 126
		f-2-12	参考2- 126
		f-4-3	参考2- 126
		f-4-5	参考2- 126
		f-4-9	参考2- 127
		f-4-10	参考2- 127
		f-4-12	参考2- 127
		f-6-2	参考2- 127
		f-8-1	参考2- 128
		f-8-2	参考2- 128
		f-8-8	参考2- 128
		f-8-11	参考2- 128
		f-9-4	参考2- 128
		f-12-3	参考2- 129
		f-12-4	参考2- 129
		f-12-6	参考2- 129
		f-12-7	参考2- 129
		f-12-8	参考2- 130
		f-12-10	参考2- 130
		f-13-3	参考2- 130
		f-14-1	参考2- 131
		f-14-2	参考2- 131
		f-14-5	参考2- 131
		f-15-1	参考2- 131
		f-15-2	参考2- 131
		f-15-3	参考2- 132
		f-17-2	参考2- 132
		f-18-1	参考2- 132
		f-18-2	参考2- 132
		f-19-1	参考2- 133
		f-19-5	参考2- 133
		f-19-6	参考2- 133
		f-20-11	参考2- 133

目次(参考資料(2／3) 性状一覧表)

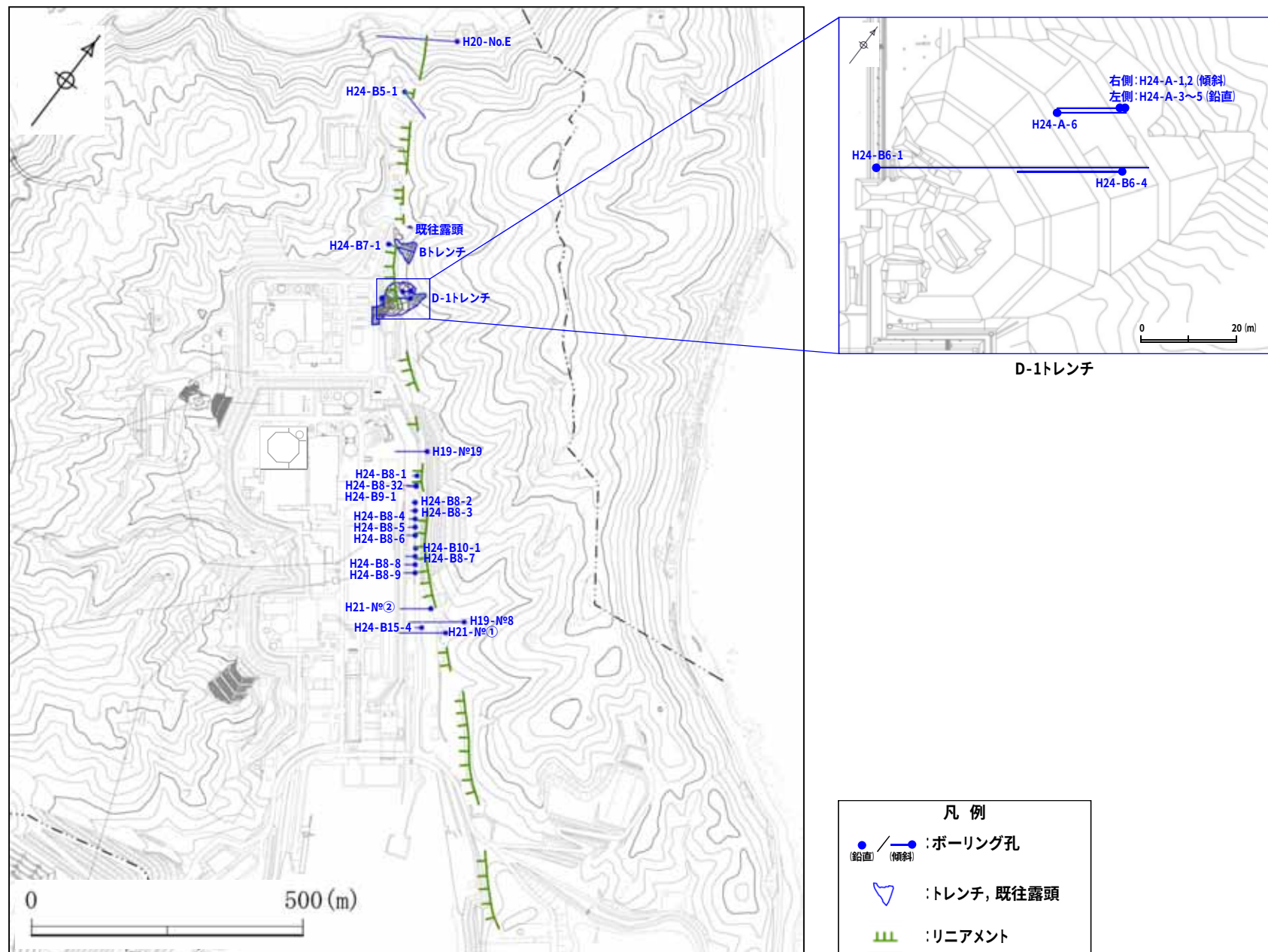
分類項目	頁	断層名 及び 破碎帯名	頁
f-①-1-3～f-④-13 破碎帯	参考2-134	f-①-1-3	参考2- 138
		f-①-2-2	参考2- 138
		f-①-2-4	参考2- 138
		f-①-3-4	参考2- 139
		f-①-3-5	参考2- 139
		f-①-3-6	参考2- 139
		f-①-3-7	参考2- 139
		f-①-3-8	参考2- 139
		f-①-4-3	参考2- 140
		f-①-9-2	参考2- 140
		f-①-9-3	参考2- 140
		f-①-10-2	参考2- 140
		f-②-1-1	参考2- 140
		f-②-1-2	参考2- 140
		f-②-1-3	参考2- 140
		f-③-1-1	参考2- 141
		f-③-1-2	参考2- 141
		f-④-1-2	参考2- 141
		f-④-1-3	参考2- 141
		f-④-1-4	参考2- 142
		f-④-2-1	参考2- 142
		f-④-2-3	参考2- 142
		f-④-3-1	参考2- 143
		f-④-5-3	参考2- 143
		f-④-6-1	参考2- 143
		f-④-6-2	参考2- 144
		f-④-6-3	参考2- 144
		f-④-6-4	参考2- 144
		f-④-7-1	参考2- 144
		f-④-9-1	参考2- 144
		f-⑥-1-2	参考2- 145
		f-⑥-1-3	参考2- 145
		f-⑥-2-2	参考2- 145
		f-⑥-2-3	参考2- 145
		f-⑥-2-4	参考2- 146
		f-⑥-2-5	参考2- 146
		f-⑥-3-1	参考2- 147
		f-⑥-3-2	参考2- 147
		f-⑥-3-3	参考2- 147
		f-⑥-3-4	参考2- 147
		f-⑥-3-5	参考2- 147
		f-⑥-3-6	参考2- 148
		f-⑥-3-8	参考2- 148
		f-⑥-3-9	参考2- 148

分類項目	頁	断層名 及び 破碎帯名	頁
f-①-1-3～f-④-13 破碎帯(続き)		f-⑥-4-1	参考2- 149
		f-⑥-4-2	参考2- 149
		f-⑥-5-1	参考2- 150
		f-⑥-5-2	参考2- 150
		f-⑥-5-3	参考2- 150
		f-⑥-6-1	参考2- 150
		f-⑥-6-3	参考2- 150
		f-⑥-7-2	参考2- 150
		f-⑥-7-3	参考2- 150
		f-⑥-7-4	参考2- 151
		f-⑥-7-5	参考2- 151
		f-⑥-7-6	参考2- 151
		f-⑥-7-7	参考2- 151
		f-⑥-7-8	参考2- 151
		f-②-2	参考2- 152
		f-③-1	参考2- 152
		f-③-3	参考2- 152
		f-④-1	参考2- 153
		f-④-2	参考2- 153
		f-④-3	参考2- 153
		f-④-7	参考2- 153
		f-④-8	参考2- 153
		f-④-9	参考2- 154
		f-④-10	参考2- 154
		f-④-11	参考2- 154
		f-④-12	参考2- 154
		f-④-13	参考2- 154
f-b11-1-1～ f-d1-5-1破碎帯	参考2-155	f-b11-1-1	参考2- 159
		f-b11-2-2	参考2- 159
		f-b14-1-2	参考2- 159
		f-b14-2-1	参考2- 159
		f-b14-2-2	参考2- 159
		f-b14-2-6	参考2- 160
		f-b8-21-1	参考2- 160
		f-b8-21-2	参考2- 160
		f-b8-34-2	参考2- 160
		f-b'-2-1	参考2- 160
		f-d1-1-10	参考2- 161
		f-d1-1-11	参考2- 161
		f-d1-4-5	参考2- 161
		f-d1-5-1	参考2- 161

分類項目	頁	断層名 及び 破碎帯名	頁
H-1～f-b-4-6 破碎帯	参考2-162	H-1	参考2- 166
		H-2	参考2- 166
		H-2'	参考2- 166
		H-3b	参考2- 166
		H-3b(s)	参考2- 167
		H-3c	参考2- 167
		H-3c(s)	参考2- 168
		H-3d	参考2- 169
		H-3e	参考2- 169
		H-4	参考2- 169
		H-4'	参考2- 170
		H-5	参考2- 170
		H-6c	参考2- 170
		H-7	参考2- 171
		B	参考2- 171
		M	参考2- 172
		f-br-1-2	参考2- 172
		f-br-1-3	参考2- 172
		f-br-1-4	参考2- 172
		f-br-1-5	参考2- 173
		f-br-5-1	参考2- 173
		f-br-6-1	参考2- 173
		f-br-12-1	参考2- 173
		f-br-12-2	参考2- 173
		f-br-12-3	参考2- 174
		f-d5-1-4	参考2- 174
		f-b-1-16	参考2- 174
		f-b-2-14	参考2- 174
		f-b-2-20	参考2- 174
		f-b-2-21	参考2- 174
		f-b-2-22	参考2- 174
		f-b-4-6	参考2- 175

1. 浦底断層

1. 浦底断層 調査位置図



浦底断層調査位置図

1. 浦底断層
性状一覧表 (1/19)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (m)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新式目録		変位 方向	変位センス		写真
		上盤深さ (cm)	下盤深さ (cm)					せん断構造 変形構造	平滑さ		転動	水平	
浦底断層	HQD-14aE (断層45°)	64.62	70.95	N200W	87W	560.0	1.4	有	平滑	←	←	←	

凡 例

最新活動面

破砕幅

断層ガウジ

★ 1: 直線

★ 2: 試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (2/19)

断層名	確認 箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		陥没	水平	
浦底断層	H24-B3-1 (傾斜45°)	76.60	82.00	N52°W	82°NE	325.0	1.5	新	平滑	14L	+	-	



【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (3/19)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センチ		写真
		上部深部 (cm)	下部深部 (cm)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	越後露頭	=	=	N23W	62E	3000	0.5	有 ★1	平滑 ★1	43L	逆 ★1	左 ★1	

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ	★1:	露頭
		★2:	試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層 性状一覧表 (4/19)

断層名	確認 箇所	断層帯範囲		走向	傾斜	断層幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センチ		写真
		上部深部 (m)	下部深部 (m)					更新構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	H24-027-1 (観測45°)	63.20	69.46	N20W	30°E	385.4	1.2	有	平滑	21L	-	-	
	観測点	-	-	N20W	30°E	130.0	2.0	有 ※1	平滑 ※1	27L	逆 ※1	左 ※1	

凡 例			
	最新活動面		断層幅
	断層ガウジ	※1	表層
		※2	基盤

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層 性状一覧表 (5/19)

断層名	断層 箇所	断層帯範囲		走向	傾斜	断層幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	断層活動面		断層 方向	変位センチ		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		前進	後退	
浦底断層	H24-A-1 (傾斜75°)	16.32	16.76	N27W	82NE	16.6	8.0	有	平滑	45L	-	-	18 
	H24-A-2 (傾斜70°)	15.00	15.62	N22W	78NE	26.4	4.0	有	平滑	60L	-	-	15 
	H24-A-3 (傾斜60°)	12.10	14.14	N28W	74NE	100.3	1.8	有	平滑	50L	-	-	13 
													14 
	H24-A-4 (傾斜60°)	11.25	12.62	N25W	65NE	110.0	4.0	有	平滑	45L	-	-	11 
	H24-A-5 (傾斜55°)	10.67	12.06	N37W	70NE	104.5	1.8	有	平滑	3L	-	-	12 
													11 
													12 

凡 例			
	最新活動面		断層幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 断層杭

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (6/19)

断層名	地図 図号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真
		上盤深部 (m)	下盤深部 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	H24-A-6 (傾斜65°)	28.86	28.16	N25W	80E	7.5	1.5	滑	平滑	25L	-	-	
	D-1 トレンチ手	-	-	N20W	50E	40.0	0.6	滑 ★1	平滑 ★1	42L	滑 ★1	走 ★1	
	H24-B6-1 (傾斜45°)	71.87	73.31	N20W	80NE	144.2	1.0	滑	平滑	42L	-	-	

凡 例

最新活動面

破砕幅

断層ガウジ

★1: 震源

★2: 地震坑

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (7/19)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センチ		写真
		上部深さ (cm)	下部深さ (cm)					変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	H24-116-4 [観測50']	5.78	6.88	-	-	371.6	3.5	帯	平滑	-	-	-	

凡 例

最新活動面

← →

破砕幅

断層ガウジ

※ 1: 表層

※ 2: 最深部

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (8/19)

断層名	補正 箇所	補正率範囲		走向	傾斜	補正幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (mm)	最新活動面		変位 方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		前進	後退	
浦底断層	H19-Hu18 (補正70°)	23.30	25.14	N41W	87NE	4470	1.8	滑	平滑	-	進	左	

凡 例

最新活動面

← →

補正幅

断層ガウジ

※ 1: 直線

※ 2: 湾曲

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (9/19)

断層名	確認箇所	断層帯範囲		走向	傾斜	断層幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	断層帯性状		断層の平滑さ	断層の方向	変位センチ		写真
		上盤深部 (m)	下盤深部 (m)					せん断構造	変形構造			前進	後退	
浦底断層	H24-08-1 (断層10")	2.52	7.22	N37W	60NE	302.1	10.0	有	平滑	53%	-	-	-	
	H24-09-1 (断層10")	2.00	6.66	N35W	50NE	425.6	1.2	有	平滑	65% (不明確)	-	-	-	

凡 例

最新活動面

断層幅

断層ガウジ

★ 1: 断層

★ 2: 断層

【断層幅】
粘土状断層部、砂状断層部、角礫状断層部、
固結した粘土状断層部、固結した砂状断層部、固結した角礫状断層部
の合計の幅とし、断層部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層 性状一覧表 (10/19)

断層名	地質 図用	断層帯範囲		走向	傾斜	断層幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		多録 方向	変位センチ		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		前進	水平	
浦底断層	H24-00-32 [傾斜50°]	2.61	6.33	-	-	263.0	2.0	有[堆積物 との境界]	-	45L	-	-	2 3 4 5 6 7
													3
													4
													5
													6
													7
	H24-00-3 [傾斜70°]	3.03	8.53	N19W	33E	314.8	3.5	有	平滑	45L	-	-	3 4 5 6 7 8 9
													4
													5
													6
													7
													8

凡 例			
	最新活動面		断層幅
	断層ガウジ		※1: 直線
			※2: 試掘坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (11/19)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写 真		
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造	平滑さ		転倒	垂走			
浦底断層	104-00-3 (緑科39)	5.70	13.12	N31W	56NE	673.4	1.5	有(塩結物 との境界)	-	不明	-	-	5		6
													6		7
													7		8
													8		9
													9		10
													10		11
													11		12
													12		13
													13		14



【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (12/19)

断層名	陸上 箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条路 方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	平滑さ		転動	水準	
浦底断層	H24-B8-4 (傾斜 70°)	8.55	14.90	N25W	S60	582.3	2.6	有	平滑	30L	-	-	



【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (13/19)

断層名	確認箇所	断層帯範囲		走向	傾斜	断層幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		断層 方向	変位センチ		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造	平滑さ		転位	水平	
浦底断層	H24-B18-5 (傾斜 30°)	16.70	17.25	N52W	53E	636.9	2.0	右	平滑	57L	-	-	

凡 例			
	最新活動面		断層幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 試掘坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (14/19)

断層名	経緯 座標	断層帯範囲		走向	傾斜	断層幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全長 方向	変位センチ		写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	P24-00-8 (標高70)	11.50	21.33	N13W	30E	923.7	0.8	有	平滑	54L	-	-	

凡 例

最新活動面

断層幅

断層ガウジ

★1: 震源

★2: 地震坑

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (15/19)

断層名	地図 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (m)	断層 ガウジの幅 (m)	最新活動面		変位 方向	変位センチ		写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	H24-B00-1 (和道)	35.01	48.00	N25W	60NE	699.5	3.5	滑	平滑	40L	-	-	

凡 例

最新活動面

破砕幅

断層ガウジ

★ 1: 震源

★ 2: 地震坑

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-21

1. 浦底断層
性状一覧表 (16/19)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		多岐 方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		前進	後退	
浦底断層	H24-08-7 (緑科79F)	27.45	31.72	N17W	55E	317.3	1.0	有	平滑	-	-	-	27
													28
													29
													30
													31
													32
浦底断層	H24-08-8 (緑科79F)	26.48	32.35	N12W	52NE	511.8	4.0	有(堆積物 との境界)	-	45L	-	-	26
													27
													28
													29
													30
													31
													32
													33

最新活動面

← →

破砕幅

断層ガウジ

※ 1: 直線

※ 2: 非直線

凡 例

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (17/19)

断層名	補註 箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		多岐 方向	変位センス		写 真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造 定形構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	H24-B0-B (傾斜70°)	27.12	33.88	N30W	61E	633.4	1.0	有(堆積物 との境界)	-	-	-	-	27
													28
													29
													30
													31
													32
													33
浦底断層	H21-Ha② (傾斜45°)	39.73	41.87	N44W	40E	192.0	0.5	有 (堆積物と の境界)	-	-	-	-	34
													39
													40
浦底断層	H21-Ha② (傾斜45°)	39.73	41.87	N44W	40E	192.0	0.5	有 (堆積物と の境界)	-	-	-	-	41
													42



【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層
性状一覧表 (18/19)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全線 方向	変位センチ		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
浦底断層	H19-Hu.8 (傾斜60°)	124.30	132.09	N13W	88E	436.0	0.5	有	平滑	-	逆	左	124 125 126 127 128 129 130 131 132 133
浦底断層	H24-Hu.15-4 (傾斜60°)	21.73	26.80	N39W	89NE	253.5	0.3	有	平滑	-	-	-	21 22 23 24 25 26 27

凡 例

最新活動面

← →

破砕幅

断層ガウジ

* 1: 原図

* 2: 計算値

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-24

1. 浦底断層
性状一覧表 (19/19)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	破砕帯	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全断 方向	変位センス		写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		前進	後退	
浦底断層	H21・No.11 (線形45°)	59.21	60.29	N42W	61E	880	6.0	有	非平滑	-	-	-	

凡 例

最新活動面

破砕幅

断層ガウジ

● 1: 震源

● 2: 観測点

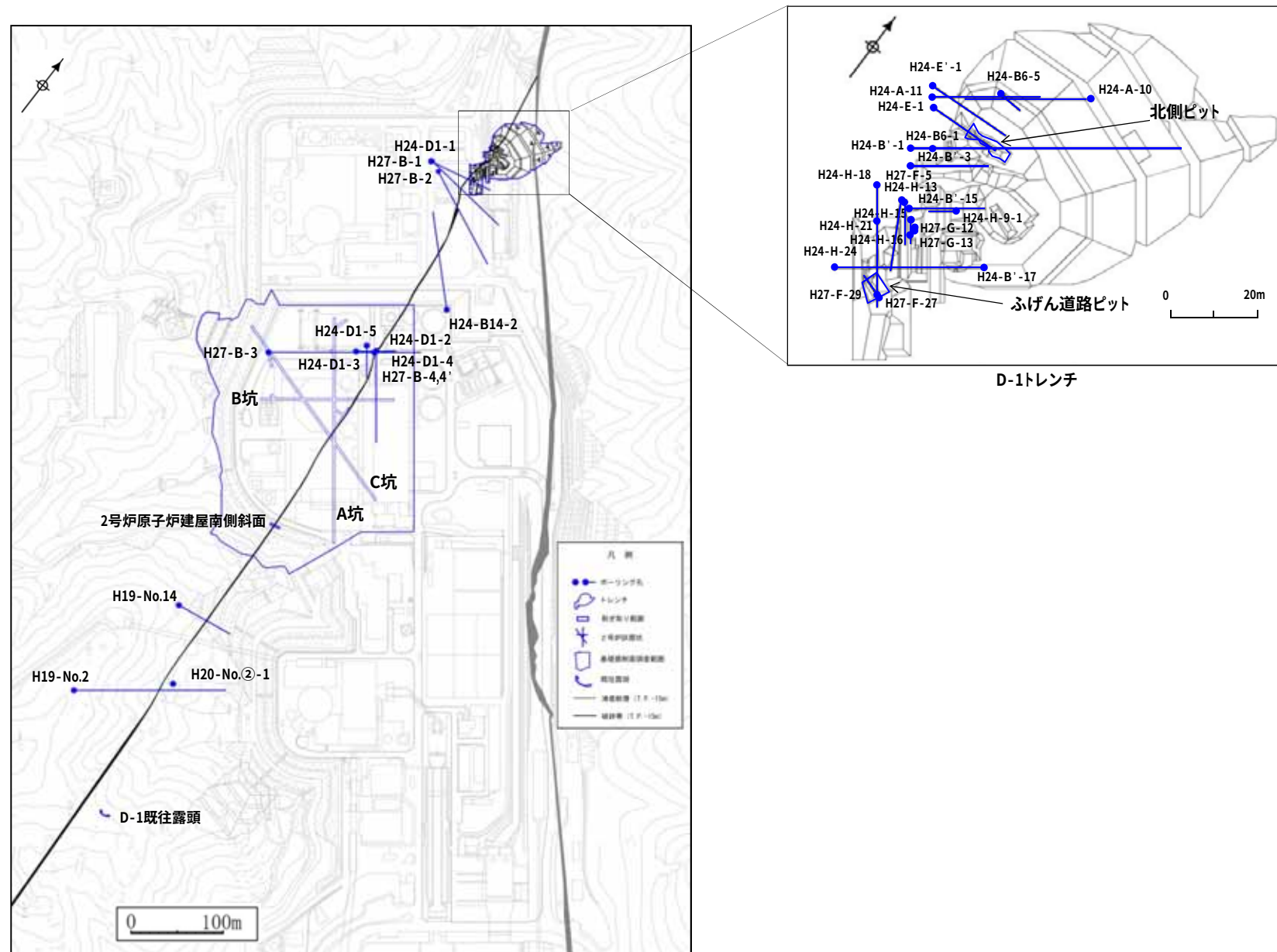
【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

余白

2. D-1破碎帶

2. D-1破碎帯 調査位置図



D-1 破碎帶調查位置図

2. D-1 破碎帯 性状一覧表 (1/12)

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

試料番号	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全傾方向	変位センス		写真		
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造	平滑さ		転動	水平			
D-1	H24-A-11 (傾斜45°)	29.00	29.35	N15E	88W	16.4	2.8	有	平滑	45L	正	右	29		30
	H24-A-12 (傾斜55°)	26.43	27.95	N3E	86W	76.0	7.1	有	平滑	35L	正	右	26		27
													27		28
	H24-B6-3 (傾斜75°)	12.28	16.35	N7E	89W	172.0	1.5	有	平滑	60L	-	-	12		13
													13		14
												14		15	
												15		16	
												16		17	
	H24-E-1 (傾斜45°)	25.18	25.36	N7E	89W	10.1	1.0	有	平滑	75R	-	-	25		26
	H24-E-1 (傾斜45°)	20.00	20.44	N5E	87W	28.3	3.2	有	平滑	60L	正	-	20		21

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		断層ガウジ
	断層ガウジ		断層ガウジ

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部の
合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-29

2. D-1破砕帯 性状一覧表 (2/12)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-1	H24-B0-1 (傾斜45°)	14.76	15.56	N3E	81W	62.8	0.4	有	平滑	51R	-	-	14 15 16
	H24-B1-1 (傾斜45°)	21.11	21.74	N8E	88W	36.1	6.7	有	平滑	55L	正	右	21 22
	北側ピット	-	-	N10W	75W	50.0	5.0	有 ★1	平滑 ★1	64R	正	左	 
	H24-B1-3 (傾斜45°)	15.80	17.39	N3E	85W	91.2	0.4	有	平滑	70L	正	-	15 16 17 18

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ	★1: 直線	★2: 非直線

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D-1破砕帯 性状一覧表 (3/12)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)					せん断破壊	変位構造		鉛直	水平	
D-1	H24-B-15 (傾斜45°)	7.96	8.07	N8E	82W	8.7	3.0	有	非平滑	55L	正	右	7 8
	H24-H-9-1 (傾斜60°)	11.38	11.64	N13W	88W	11.8	2.5	有	非平滑	-	-	-	11 12
	H27-G-12 (鉛直)	11.12	11.60	-	-	16.4	1.0	有	平滑	-	-	-	11 12
	H27-G-13 (鉛直)	7.80	7.97	-	-	12.7	1.2	有	平滑	-	-	-	7 8
	H24-H-18 (傾斜65°)	7.85	11.08	N3W	72W	170.5	0.3	有	非平滑	60L	正	右	7 8 9 10 11 12

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		*1: 露頭
			*2: 試露坑

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部の
合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-31

2. D-1 破碎帯 性状一覧表 (4/12)

破碎帯番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上層深さ (m)	下層深さ (m)					せん断破壊	圧入構造		鉛直	水平	
D-1	H24-H-15 (鉛直)	8.39	11.32	N5W	75W	127.6	1.8	有	平滑	80H	正	-	6 7 8 9 10 11 12
	H24-H-13 (傾斜60°)	16.60	16.86	N8E	81W	8.9	1.8	有	平滑	90	正	-	16
	H27-F-5 (傾斜50°)	18.71	18.96	N5	85W	19.2	2.0	有	平滑	70L	正	-	18
	H27-F-27 (傾斜60°)	7.18	8.66	-	-	103.8	0.5	有	平滑	-	-	-	7 8 9

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		*1: 真価
			*2: 計算値

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の
合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D-1破碎帯
性状一覧表 (5/12)

破砕帯番号	破砕帯位置	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		断層 方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-1	H27-F-29 (傾斜60°)	4.40	5.52	-	-	80.0	0.3	有	非平滑	-	-	-	4 5
	H24-G-17 (傾斜45°)	37.65	37.80	N18E	75W	7.3	1.1	有	平滑	79L	-	-	37 38
	H24-H-24 (傾斜50°)	17.70	17.90	N12E	89W	6.2	0.8	有	平滑	73R	-	-	17 18
	H24-H-18 (傾斜45°)	28.00	29.92	N1W	86W	93.1	1.2	有	平滑	80R	正	-	28 29
	H24-H-21 (傾斜45°)	18.22	19.01	NS	77E	30.4	0.6	有	平滑	90L	(正)断	左	18 19
	H24-D1-1 (傾斜45°)	60.12	60.15	N5E	88W	2.5	0.1	有	平滑	90L	正	-	60 61

※近接する正断層センスの破砕部同様、西側のブロックが沈降する変位センス(局所的に傾斜が高角度東傾斜のため見かけ逆断層センス)

凡 例

最新活動面

破砕幅

断層ガウジ

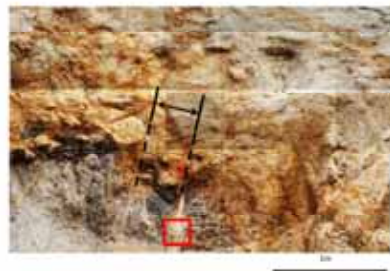
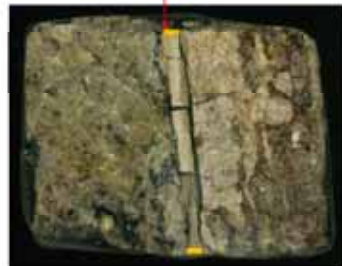
*1: 真傾

*2: 計算値

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D-1 破碎帯 性状一覧表 (6/12)

破碎帯名	確認 箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断面 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全長 方向	変位センス		写真		
		上層深度 (m)	下層深度 (m)					せん断破壊 変形構造	平滑さ		鉛直	水平			
	ふげん道路 ビット	-	-	N9E	86W	400	1.5	有 ★1	平滑 ★1	80L	正	-			
D-1	H27-B1-1 (傾斜45°)	59.82	59.85	N26E	80W	2.5	0.7	有	平滑	81L	正	-	59		60
	H27-B1-2 (傾斜45°)	61.29	61.69	N8E	89W	25.8	1.5	有	平滑	90	正	-	61		62
	H24-B14-2 (傾斜45°)	109.16	109.46	N1W	76W	7.8	2.2	有	平滑	-	正	右	109		110
	H24-D1-3 (傾斜45°)	34.23	34.52	N12W	89W	16.6	0.8	有	平滑	75L	正	-	34		35
	H24-D1-2 (傾斜60°)	12.36	12.97	N14W	70W	41.7	0.9	有	平滑	60R	正	-	12		13
	H24-D1-4 (傾斜45°)	10.91	10.92	N13W	78W	1.8	1.8	有	平滑	90L	正	-	10		11

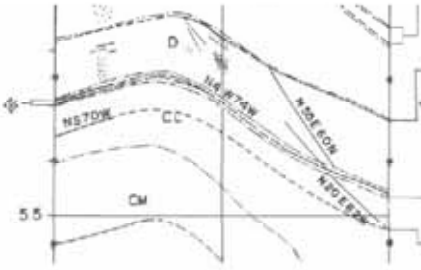
凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断面ガウジ	★1	真断
		★2	計算断

【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-34

2. D-1 破砕帯 性状一覧表 (7/12)

破砕帯番号	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		像傾方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断破壊面	平滑さ		鉛直	水平	
D-1	H27-B-3 (傾斜45°)	119.11	119.25	N20E	87W	12.3	1.0	有	非平滑	60L	正	右	119  120
	H27-B-4 (傾斜45°)	15.91	16.36	N16W	83W	31.8	2.5	有	非平滑	60L	-	-	15  16 16  17 ※ポアホールカメラでの計測ができなかったため、走向傾斜・変位センス・試料分析等は垂直孔のH27B-4'で得られたデータを表示。
	H27-B-4' (傾斜45°)	23.97	24.42	N16W	83W	34.0	0.2	有	平滑	60L	正	右	23  24 24  25
	H24-D1-5 (傾斜50°)	47.47	47.89	N1E	88W	17.7	2.0	有	平滑	60L	正	-	47  48
	2号採 試験坑B坑	-	-	N4W	74W	15.0	2.0	有 ★2	非平滑 ★2	-	-	-	 幅2mm褐色粘土 幅約8cmの小角礫状部。上盤側端に幅3mm以内の黄褐色粘土が挟まれ、 下盤側に幅10～30mmの灰白色粘土が挟まれる。(D-1) 上盤側岩壁は比較的しっかりしているが、下盤側岩壁は熱水変質の 幅5～10mmの淡黄褐色～灰白色粘土。両側岩壁はやや軟質化している 白色で幅10mm以下の粘土付着。

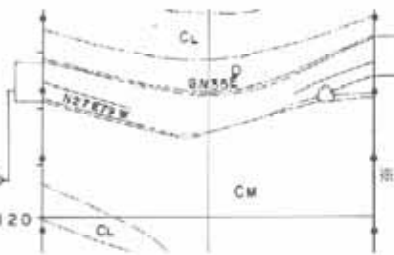
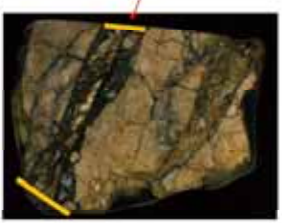
凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ	★1: 断層	
		★2: 試験坑	

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-35

2. D-1 破砕帯 性状一覧表 (8/12)

破砕帯名	破砕帯番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	断層活動		条線 方向	変位センス		写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)					せん断 変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-1	2号伊 試掘坑A坑	-	-	N10E	75W	120.0	8.0	有 #2	非平滑 #2	-	-	-	 幅5mmのやわらかい淡褐色(チョコレート色)～灰白色粘土 幅3～8mmの暗褐色(チョコレート色)粘土。 白色粘土フィルムが網目状に発達する。この部分は破砕を 受けているが、C坑には延びていない。 幅120cm以内の主として砂状～角礫状部からなる破砕帯(D-1)。 上盤側には幅7cmの黄白色粘土があり、その中には幅10mmの 黄褐色粘土。幅2mmの暗褐色(チョコレート色)粘土を伴う。下盤に 幅20～30mmの白色粘土と幅数mmの淡褐色(チョコレート色)粘土、 幅5mm以内の灰白色粘土を伴う。 条線N25° W/N45° P 幅2mm淡褐色～灰白色粘土 節理間隔3～5cm。多少軟質化し、白色粘土のフィルム付着。
	2号伊 試掘坑C坑	-	-	N35E	84W	80.0	4.0	有 #2	非平滑 #2	-	-	-	 最大幅80cmの主として軟質砂状部からなる破砕帯。白色粘土の フィルムがネットワーク状に発達。中心部に幅5mmの灰黄色粘土 を挟む。下盤側に幅3cm灰黄色粘土があり、中にチョコレート色の 幅2～10mmの粘土を挟む。底盤より1.5m付近の熱水粘土と熱水 ガマ粘土は淡緑灰色でリモナイトが周辺をとりこんでいる。 (D-1) 幅60cmの破砕帯。上盤側から下盤側に向かって、10～30cmの 小角礫状部、幅3～4cmの砂状部、幅8～12mmの黄褐色粘土。 幅10～30cmの小角礫状部からなる。 左・右壁の黒色沈着物は乱されていない。
	2号伊 試掘坑南側 斜面	-	-	N21E	61W	20.0	3.0	有 #1	平滑 #1	60L	正	-	 

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		#1: 断層
			#2: 試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なものの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-36

2. D-1 破碎帯 性状一覧表 (9/12)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)					せん断破壊	圧入破壊		鉛直	水平	
D-1	H19-No.14 (傾斜65°)	86.12	87.03	N20E	81W	51.0	12	有	平滑	-	-	-	
	H20-2-1 (鉛直)	49.21	51.10	-	-	80.0	0.8	有	平滑	-	正	形	
	H19-No.2 (傾斜42°)	149.71	149.84	N2W	72W	8.0	5.0	有	平滑	70L	-	-	
	西往露頭	-	-	N25E	64W	40.0	0.5	有 ★1	平滑 ★1	74L	正	-	 

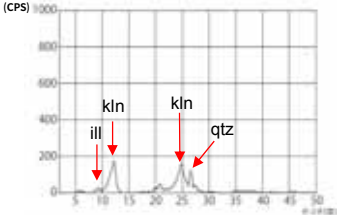
凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ	★1: 露頭	
		★2: 試露坑	

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D-1 破碎帯

性状一覧表 (10/12)

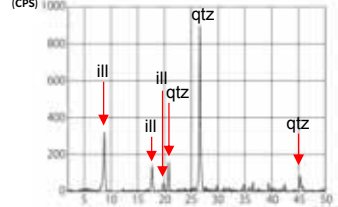
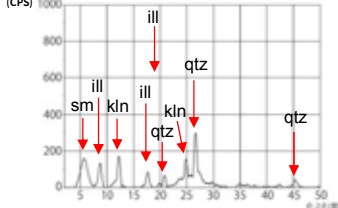
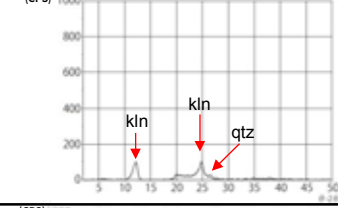
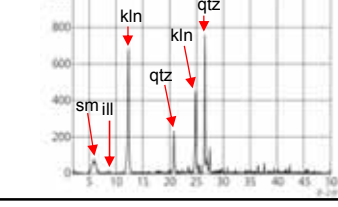
破碎帯名	確認箇所	断層ガウジの微細構造	X線回折分析
D-1 破碎帯	2号炉原子炉建屋 南側斜面	・構成粒子の円形度 :0.4程度(歪円礫状)※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	・カオリナイト, イライト, 石英を含む。 
	H24-D1-2	・構成粒子の円形度 :0.3程度(歪円礫状)※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	-
	H24-D1-3	・構成粒子の円形度 :0.3程度(歪円礫状)※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	-
	H24-D1-4	・構成粒子の円形度 :0.4程度(歪円礫状)※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	-
	H24-D1-5	・構成粒子の円形度 :0.5程度(円礫状)※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	-

※円形度:Krumbein(1941)の印象図に基づく

ill:イライト kln:カオリナイト qtz:石英

2. D-1 破碎帯

性状一覧表 (11/12)

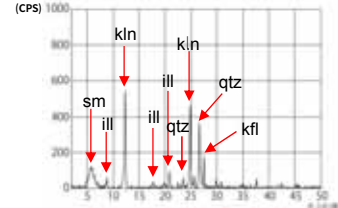
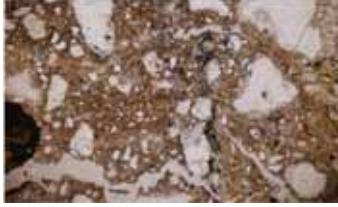
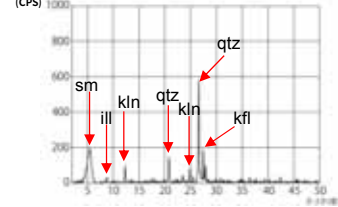
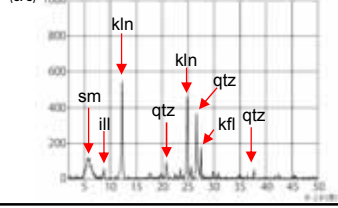
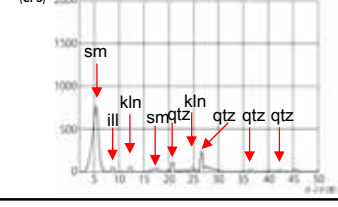
破碎帯名	確認箇所	断層ガウジの微細構造	X線回折分析
D-1 破碎帯	H27-B-3	・構成粒子の円形度 : 0.5程度 (円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	・イライト, 石英を含む。 
	H27-B-4	・構成粒子の円形度 : 0.3程度 (亜円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	・スメクタイト, カオリナイト, イライト, 石英を含む。 
	H20-No.②-1	・構成粒子の円形度 : 0.4程度 (亜円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	—
	D-1 既往露頭	・構成粒子の円形度 : 0.5程度 (亜円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	・カオリナイト, 石英を含む。 
	H24-B14-2	・構成粒子の円形度 : 0.3程度 (亜円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	・カオリナイト, スメクタイト, イライト, 石英を含む。 

※円形度: Krumbein(1941)の印象図に基づく

ill: イライト kln: カオリナイト sm: スメクタイト
qtz: 石英

2. D-1 破碎帯

性状一覧表 (12/12)

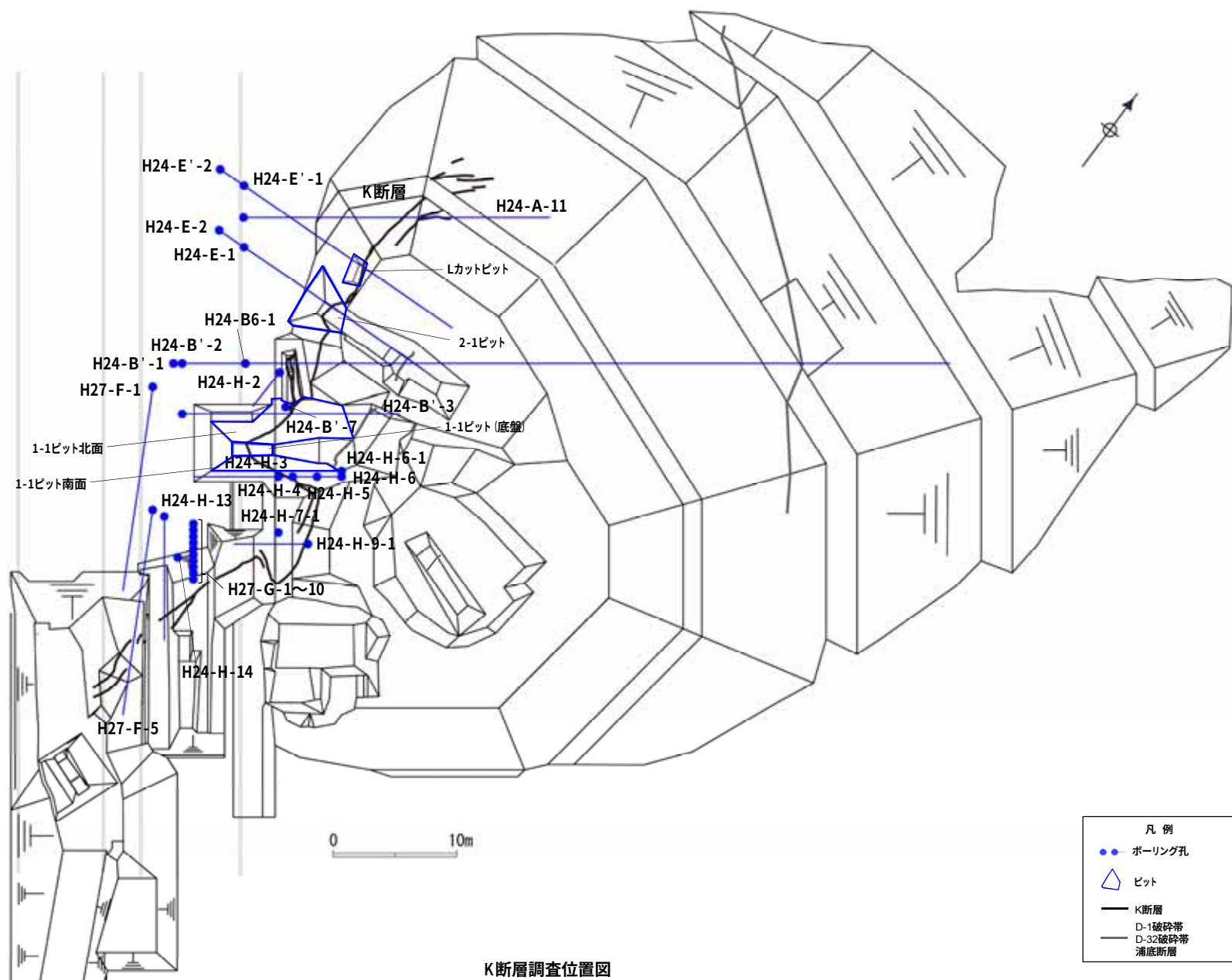
破碎帯名	確認箇所	断層ガウジの微細構造	X線回折分析
D-1 破碎帯	H24-D1-1	・構成粒子の円形度 :0.3程度 (亜円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	—
	H27-B-1	・構成粒子の円形度 :0.3程度 (亜円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	・カオリナイト, スメクタイト, イライト, 石英, カリ長石を含む。 
	H27-B-2	・構成粒子の円形度 :0.3程度 (亜円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	・スメクタイト, カオリナイト, イライト, 石英, カリ長石を含む。 
	北側ピット	・構成粒子の円形度 :0.5程度 (亜円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	・カオリナイト, スメクタイト, イライト, 石英, カリ長石を含む。 
	ふげん道路ピット	・構成粒子の円形度 :0.3程度 (亜円礫状) ※ ・面構造が発達する。 ・基質の細粒化が進んでいる。 	・スメクタイト, カオリナイト, イライト, 石英を含む。 

※円形度:Krumbein(1941)の印象図に基づく

ill:イライト kln:カオリナイト sm:スメクタイト
kfl:カリ長石 qtz:石英

3. K断層

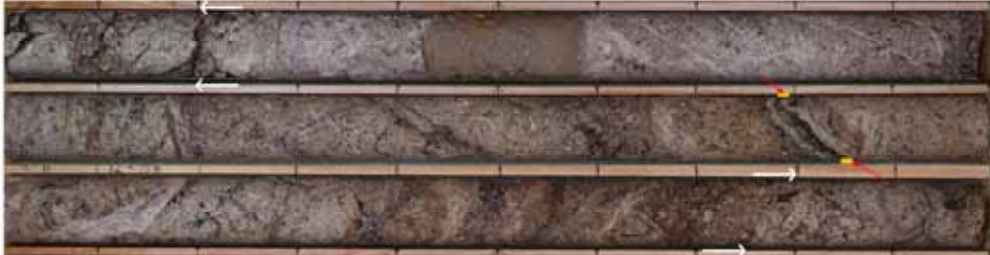
調査位置図



3. K断層

性状一覧表 (1/12)

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

断層名	確認箇所	地層範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
K	H24-E-2 (傾斜45°)	19.24	19.45	NS	87W	53.9	0.8	有	非平滑	80R	逆	右	
	H24-E-1 (傾斜45°)	10.01	14.05	NS	88W	355.7	2.0	有	非平滑	55L	逆	左	
	H24-A-11 (傾斜45°)	10.20	12.76	NSW	89W	181.0	1.0	有	非平滑	80R	逆	-	

凡 例			
	: 最新活動面		: 破砕幅
	: 断層ガウジ		: 露頭
			: 試露坑

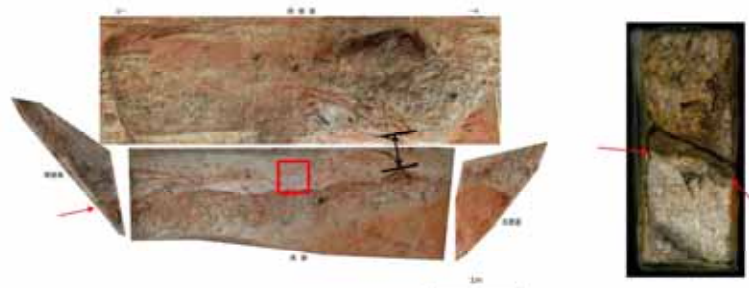
【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-42

3. K断層

性状一覧表 (2/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造	非滑さ		鉛直	水平	
K	H24-E-2 (傾斜45°)	13.23	15.82	N21W	60W	224.3	3.0	有	非平滑	60R	逆	右	
	H24-E-1 (傾斜45°)	8.41	9.70	N21W	71W	111.7	1.0	有	非平滑	55R	逆	右	
	Lカットゼット	-	-	N13W	76W	30.0	-	有 ※1	非平滑 ※1	60R	逆	-	

凡 例			
	: 最新活動面		: 破砕幅
	: 断層ガウジ	※1: 露頭	
		※2: 試掘坑	

【破砕幅】

粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-43

3. K断層

性状一覧表 (3/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
K	2-1ピット	—	—	N11W	69W	40.0	0.4	有 ※1	非平滑 ※1	70R	逆	—	
													
													※断層から採取
	H24-B6-1 (傾斜45°)	3.00	4.00	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	3  4
	H27-F-1 (傾斜50°)	20.29	20.38	N11E	76W	51.8	0.2	有	非平滑	—	—	—	20  21

凡 例			
	: 最新活動面		: 破砕幅
	: 断層ガウジ	※1: 露頭	
		※2: 試露坑	

【破砕幅】

粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-44

3. K断層

性状一覧表 (4/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
K	H24-B-1 (傾斜45°)	7.50	10.93	N12W	89W	242.5	1.0	有	非平滑	SSL	-	-	7 8 9 10 11
	H24-B-2 (傾斜70°)	12.42	13.27	N4E	73W	52.3	0.3	有	非平滑	20L	-	左	12 13 14
	H24-B-2 (傾斜70°)	5.02	5.38	N29W	66W	12.3	2.5	有	非平滑	75R	-	-	5 6
	H24-B-7 (傾斜90°)	0.62		N29W	62W	-	-	-	-	30R	-	-	0 1
	H24-B-3 (傾斜45°)	7.37	7.70	N5	84W	19.4	0.3	無	-	SSL	逆	右	7 8

凡 例			
	: 最新活動面		: 破砕幅
	: 断層ガウジ		*1: 露頭
			*2: 試掘坑

【破砕幅】

粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの

非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-45

3. K断層

性状一覽表 (5/12)

凡 例

● : 最新活動圏 ← → : 破砕幅 — : 断層ガウジ

* 1 : 露頭
* 2 : 試掘坑

【平滑さ】
 平滑：最新活動面が直線的なもの
 非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層
 性状一覧表 (6/12)

断層名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	方位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造	平滑さ		傾面	水平	
K	1-1ピット南面2	-	-	342W	30W	-	0.0	有 ★1	非平滑 ★1	37L	逆	-	
	1-1ピット南面3	-	-	N79W	52W	40.0	0.0	有 ★1	非平滑 ★1	32L	逆	-	


 :最新活動面


 :破碎幅


 :断層ガウジ

★1: 露頭
 ★2: 試露坑


 :最新活動面


 :破碎幅


 :断層ガウジ

★1: 露頭
 ★2: 試露坑

【破碎幅】
 粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
 固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
 の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
 平 滑：最新活動面が直線的なもの
 非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-47

3. K断層

性状一覧表 (7/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真	
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平		
K	1-1ピット 崖壁1	—	—	N66W	76S	150.0	8.8	有 ★1	平滑 ★1	70L	逆	—		
	1-1ピット 崖壁2	—	—	N54E	67E	10.0	9.8	有 ★1	非平滑 ★1	25R	逆	右		

凡 例

最新活動面 ← → 破砕幅 断層ガウジ ★1: 露頭 ★2: 試露坑

【破砕幅】

粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表 (8/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造	平直さ		鉛直	水平	
K	1-1ピット 底面2	-	-	N74W	69W	5.0	0.3	有 *1	非平滑 *1	63L	逆	左	
	H24-11-6-1 (傾斜45°)	9.58	14.38	N32W	39W	41.7	0.8	有	非平滑	90	-	-	
	H24-11-3 (鉛直)	5.39	-	N36W	39SW	-	-	-	-	-	-	-	

凡 例			
	: 最新活動面		: 破砕幅
	: 断層ガウジ	*1: 露頭	
		*2: 試露坑	

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-49

3. K断層

性状一覧表 (9/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
K	H24-H-4 (和直)	3.87		N45W	58W	-	-	-	-	90	-	-	3 
	H24-H-5 (和直)	0.24		-	-	-	-	-	-	-	-	-	0 
	H24-H-6 (傾斜45°)	9.92	14.69	N23W	52W	33.2	1.0	有	非平滑	75L	逆	-	9  10  11  12  13  14  15 
	H27-F-5 (傾斜50°)	11.02	11.83	N12E	31W	48.1	1.0	有	非平滑	-	-	-	11 

凡 例			
	: 最新活動面		: 破砕幅
	: 断層ガウジ	*1: 露頭	
		*2: 試露坑	

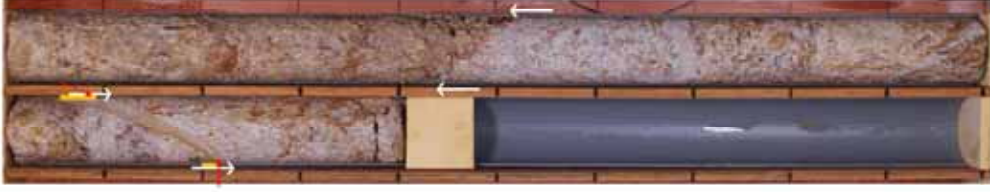
【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-50

3. K断層

性状一覧表 (10/12)

断層名	確認箇所	断層帯範囲		走向	傾斜	断層幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
K	H24-H-13 (断層60°)	8.89	9.90	N10W	72W	52.2	2.5	有	非平滑	50R	逆	右	
	H27-G-1 (鉛直)	6.48	7.24	-	-	23.5	1.5	有	平滑	-	-	-	
	H27-G-2 (鉛直)	5.40	6.40	-	-	34.2	1.0	有	非平滑	-	-	-	
	H24-H-7-1 (鉛直)	3.73	-	N5E	73W	-	-	-	-	90	-	-	
	H27-G-3 (鉛直)	5.11	5.75	-	-	45.3	2.0	有	非平滑	-	-	-	

凡 例			
	: 最新活動面		: 断層幅
	: 断層ガウジ		*1: 露頭
			*2: 試露坑

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-51

3. K断層

性状一覧表 (11/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部厚さ (m)	下部厚さ (m)					せん断構造	平滑さ		傾置	水平	
K	H27-Q-4 (船道)	4.92	5.15	-	-	14.2	0.8	有	平滑	-	-	-	4 5 5 6
	H24-H-9-1 (傾斜60°)	10.43	11.00	NS	89W	24.1	1.0	有	非平滑	60L	逆	左	10 11
	H27-Q-5 (船道)	4.30	4.80	-	-	29.7	0.2	有	平滑	-	-	-	4 5
	H27-Q-6 (船道)	4.09	4.25	-	-	11.3	1.5	有	非平滑	-	-	-	4 5
	H24-H-14 (船道)	4.83	7.81	NSW	55W	165.2	1.0	有	非平滑	SOR	逆	右	4 5 6 7 8

凡 例			
	: 最新活動面		: 破砕幅
	: 断層ガウジ		*1: 露頭
			*2: 試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-52

3. K断層

性状一覧表 (12/12)

断層名	確認箇所	維持帯範囲		走向	結核	結核幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	方位センズ		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	平滑さ		傾置	水平	
K	H27-G-7 (鉛直)	3.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 
	H27-G-8 (鉛直)	2.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 
	H27-G-9 (鉛直)	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 
													2 
	H27-G-10 (鉛直)	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 

凡 例			
	: 最新活動面		: 断層幅
	: 断層ガウジ	*1: 露頭	
		*2: 試露坑	

【破碎幅】

粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

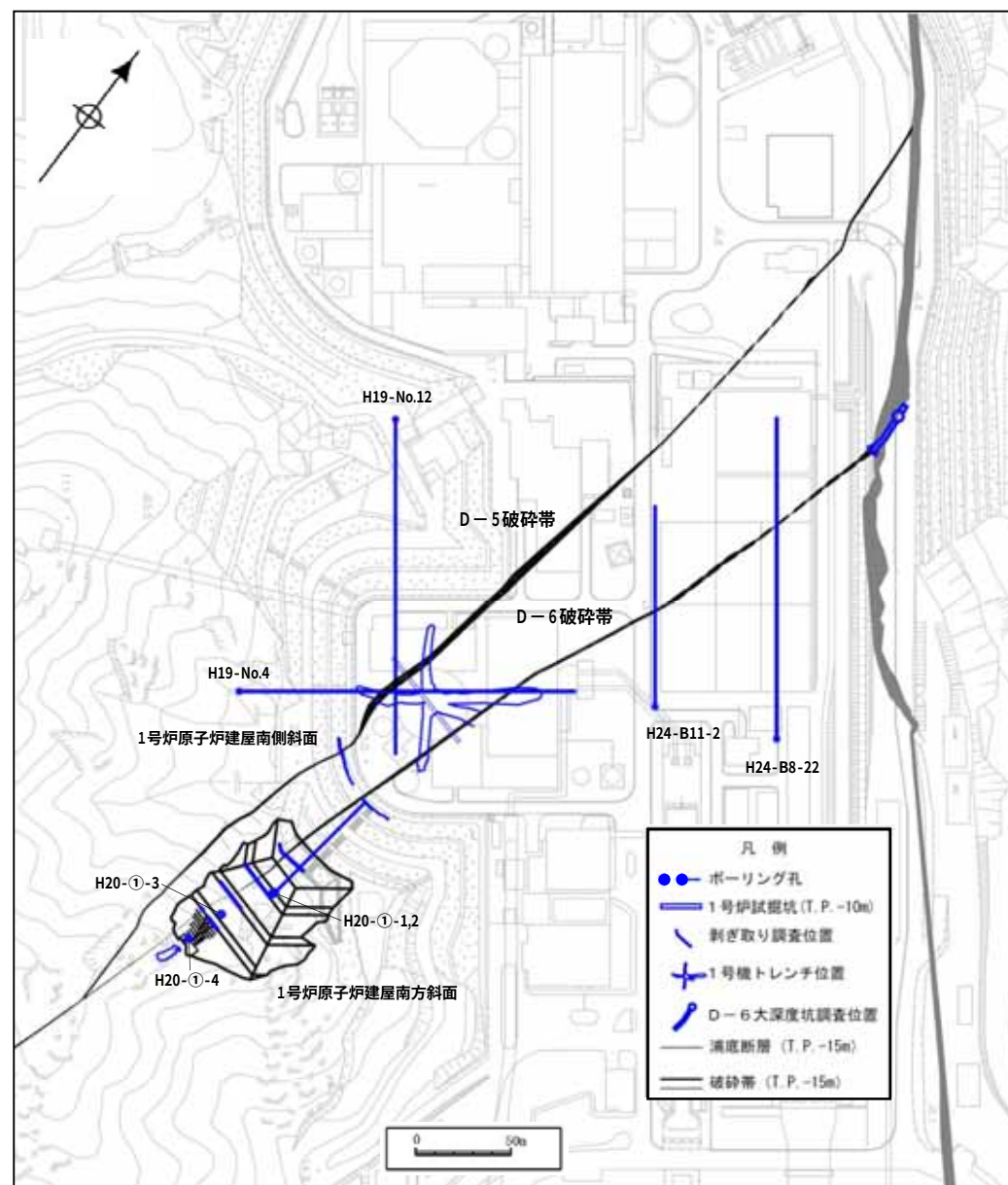
【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-53

4. D—6破碎帶

4. D-6破碎帯 調査位置図



D-6破碎帯調査位置図

4. D-6 破碎帯

性状一覧表 (1/6)

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破砕帯名	破砕帯番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-6	H23-D-6 (西側)	大深度域 (調査領域)	-	N19E	89W	30.0	3.0	有 ★1	平滑 ★1	42L	正	右	
	H24-BB-22 (傾斜45°)	176.68	177.31	N19E	85W	10.0	2.4	有	平滑	40L	正	右	
	H24-B11-2 (傾斜45°)	80.50	83.93	N19E	80W	171.5	0.7	有	平滑	-	正	右	

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ	★1: 断層	★2: 断層

【破砕幅】

粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-56

4. D-6 破碎帯

性状一覧表 (2/6)

破砕帯名	破砕帯番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-6	H19-No.12 (傾斜45°)	224.67	225.08	-	-	32.0	1.0	有	平滑	-	-	-	
	H19-No.4 (傾斜45°)	171.88	174.88	NNE	78W	208.0	17.3	有	平滑	78L	正	-	
	1号機 試験坑	-	-	N29E	80W	306.0	-	-	-	-	-	-	
	H21-D-6 西側	-	-	N1E	85W	70.0	1.3	有 *1	非平滑 *1	42L	正	右	

凡 例					
	最新活動面		破砕幅		断層ガウジ
					* 1: 断層 * 2: 試験坑

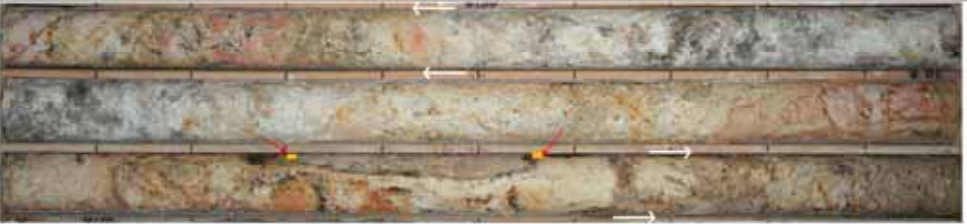
【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-57

4. D-6 破碎帯

性状一覧表 (3/6)

破砕帯番号	破砕帯場所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	断層活動		条線 方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-6	H20-T-2 (観測54)	32.90	34.91	N130W	73W	91.0	2.0	有	非平滑	-	-	-	
	H20-T-1 (観測)	8.64	10.63	-	-	117.0	2.0	有	平滑	-	-	-	
	H20-T-3 (観測)	6.42	8.73	N12E	74W	60.0	2.0	有	非平滑	-	-	-	
	H21-D-6 東側	-	-	N13E	90	700.0 (西側と 合わせて)	4.0	有 ★1	平滑 ★1	72L	正	-	 

凡 例					
	最新活動面		破砕幅		断層ガウジ
					★1: 断層
					★2: 断層地

【破砕幅】

粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-58

4. D-6 破碎帯

性状一覧表 (4/6)

破砕帯名	破砕帯番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位 方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-6	H27-D-6 西側	1号研 原平砂建屋 南方斜面 小段 (72m壁)	-	N33E	80W	700.0 (東側と 合わせて)	18.0	有 *1	非平滑 *1	88L	正	-	
	H20-T1-8 (鉛直)	12.70	15.25	N32E	80W	87.0	8.8	有	平滑	70L	正	-	
	H27-D-6 西側	1号研 原平砂建屋 南方斜面 南方	-	N17E	81W	280.0	13.0	有 *1	非平滑 *1	82L	正	-	

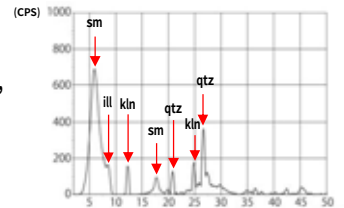
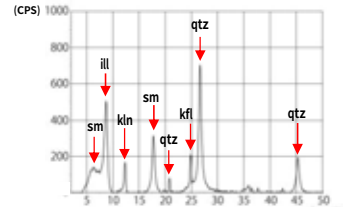
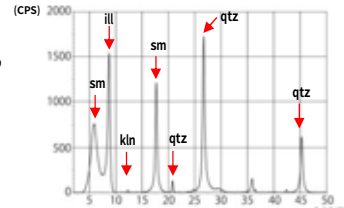
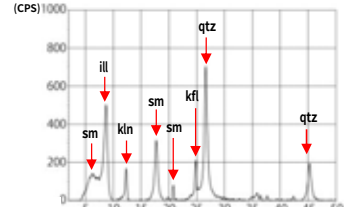
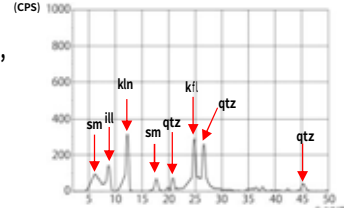
凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		*1: 断層
			*2: 断層

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

4. D-6 破碎帯

性状一覧表 (5/6)

破碎帯名	確認箇所	断層ガウジの微細構造	X線回折分析
D-6 破碎帯	H19-No.4	・構成粒子の円形度 ：0.1～0.5程度(亜角 ～亜円礫状)[※] ・面構造が弱い。 	・スメクタイト, カオリナイト, イライト, 石英を含む。 
	H19-No.12		・イライト, スメクタイト, カオリナイト, 石英, カリ長石を含む。 
	1号炉原子炉建屋 南側斜面	・構成粒子の円形度 ：0.4程度(亜円礫状)[※] ・面構造が弱い。 	・イライト, スメクタイト, カオリナイト, 石英 を含む。 
	1号炉原子炉建屋 南方斜面 T.P.72m	・構成粒子の円形度 ：0.3～0.4程度(亜円礫状)[※] ・面構造が弱い。 	・イライト, スメクタイト, カオリナイト, 石英, カリ長石を含む。 
	1号炉原子炉建屋 南方斜面 山頂部		・カオリナイト, イライト, スメクタイト, 石英, カリ長石を含む。 

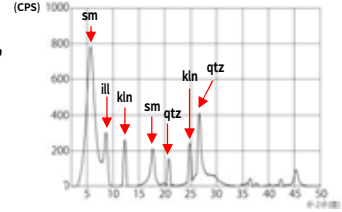
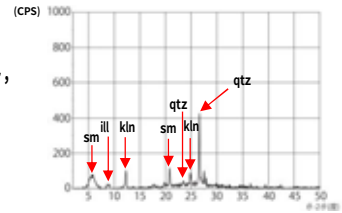
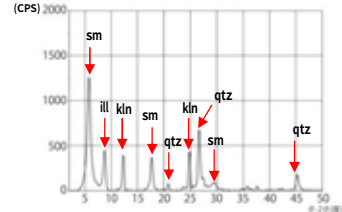
※円形度：Krumbein(1941)の印象図に基づく

ill:イライト kln:カオリナイト sm:スメクタイト
kfl:カリ長石 qtz:石英

参考2-60

4. D－6破碎帯

性状一覧表 (6/6)

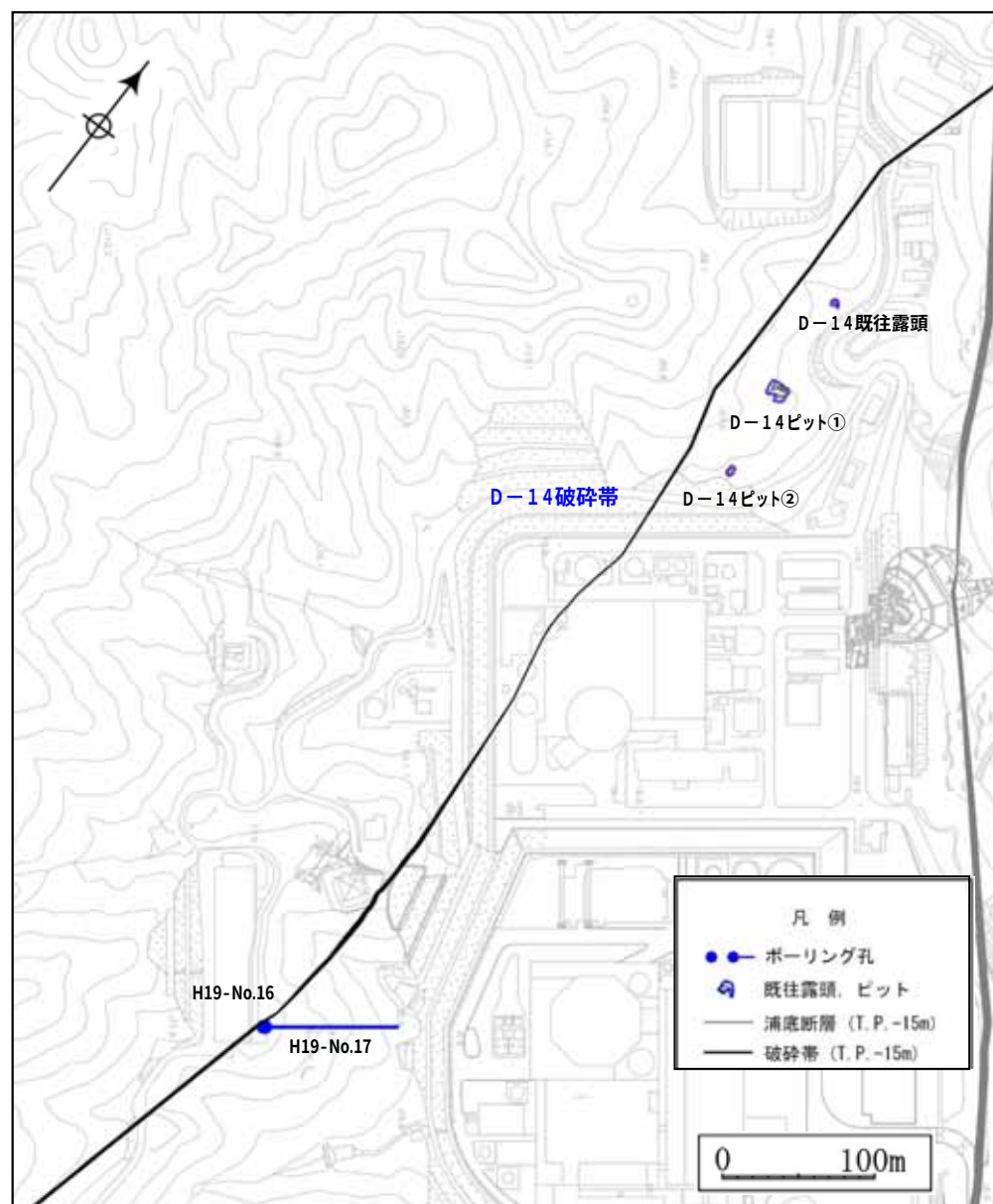
破碎帯名	確認箇所	断層ガウジの微細構造	X線回折分析
D－6破碎帯	H24-B11-2	・構成粒子の円形度 ：0.4程度(亜円礫状)※ ・面構造が弱い。 	・スメクタイト, イライト, カオリナイト, 石英 を含む。 
	H24-B8-22	・構成粒子の円形度 ：0.4程度(亜円礫状)※ ・面構造が弱い。 	・スメクタイト, カオリナイト, イライト, 石英を含む。 
	大深度調査坑	・構成粒子の円形度 ：0.3程度(亜円礫状)※ ・面構造が弱い。 	・スメクタイト, イライト, カオリナイト, 石英 を含む。 

※円形度：Krumbein(1941)の印象図に基づく

ill:イライト kln:カオリナイト sm:スメクタイト
qtz:石英

5. D—14破碎帶

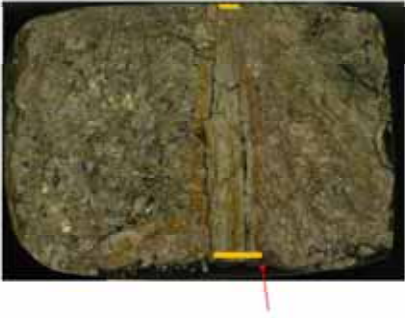
5. D-14 破碎帶 調査位置図



D-14 破碎帶調查位置図

5. D-14 破碎帯 性状一覧表 (1/3)

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

観測番号	観測箇所	観測帯範囲		走向	傾斜	観測幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位方向	変位センス		写真	
		上層深部 (m)	下層深部 (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平		
D-14	残柱露頭 (追加計測)	-	-	NNE	SW	255.0	2.0	有 ★1	平滑 ★1	20H	-	左		
	ピット③ (追加計測)	-	-	NNE	SW	300.0	8.0	有 ★1	非平滑 ★1	20H	-	左		



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

5. D-14 破碎帯

性状一覧表 (2/3)

破碎帯番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-14	ビット②	-	-	N12W	48W	100.0	3.5	有 ★1	平滑 ★1	33H	正	左	
	H19-No.16 (鉛直)	86.04	87.32	-	-	91.0	1.4	有	非平滑	-	-	-	
	H19-No.17 (傾斜45°)	75.60	75.90	N14E	77W	28.0	1.8	無	-	12H	-	-	

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ	★1: 断層	★2: 試掘地

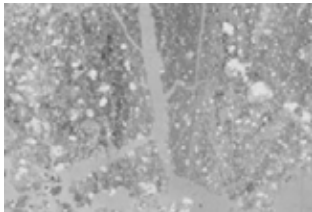
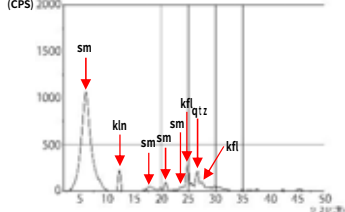
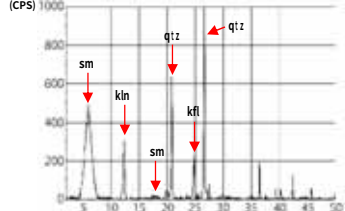
【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-65

5. D-14 破碎帯

性状一覧表 (3/3)

破碎帯名	確認箇所	断層ガウジの微細構造	X線回折分析
D-14 破碎帯	既往露頭	・構成粒子の円形度 : 0.4程度(亜円礫状)※ ・面構造が弱い。 	・スメクタイト, カオリナイト, 石英, カリ長石を含む。 
	ピット①	・構成粒子の円形度 : 0.4程度(亜円礫状)※ ・面構造が弱い。 	・スメクタイト, カオリナイト, 石英, カリ長石を含む。 

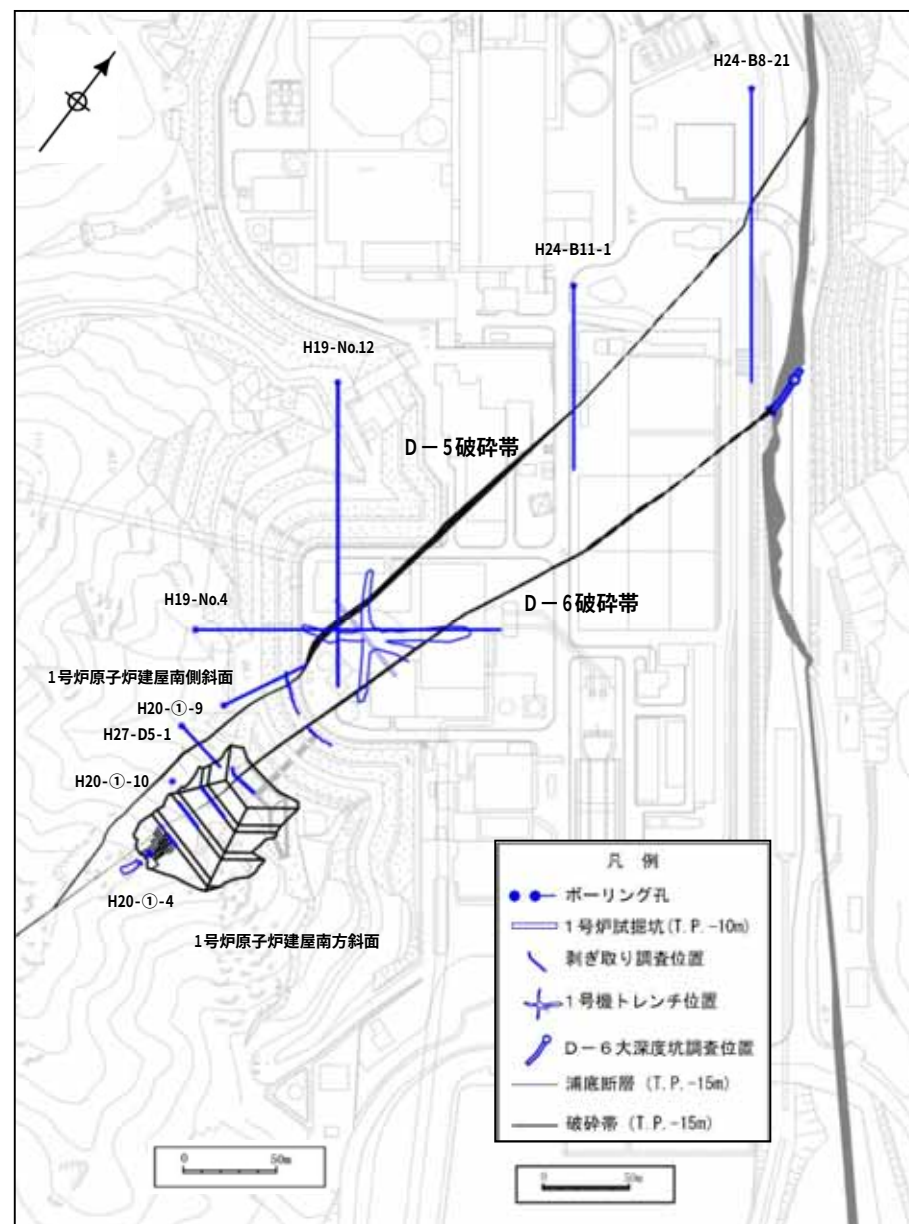
※円形度: Krumbein(1941)の印象図に基づく

kln: カオリナイト sm: スメクタイト
kfl: カリ長石 qtz: 石英

余白

6. D—5破碎帶

6. D-5破碎帯 調査位置図



D-5破碎帯調査位置図

6. D-5 破碎帯

性状一覧表 (1/5)

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破砕帯番号	破砕帯 番号	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (m)	断面 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位 方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		傾斜	水平	
D-5	H24-B8-21 (傾斜45°)	92.86	93.53	N5W	82E	17.0	0.8	有	非平滑	-	正	右	92 93 94
	H24-B11-1 (傾斜45°)	88.93	88.97	N4E	61W	3.8	0.3	有	非平滑	60L	正	-	88 89 90
	H19-No.12 (傾斜45°)	172.20	172.45	-	-	22.0	0.2	有	非平滑	-	-	-	172 173
	H19-No.4 (傾斜45°)	107.54	108.94	N16E	87W	178.4	2.5	有	非平滑	-	正	右	107 108 109 110
	1号機 試験坑	-	-	N0E ~ N13E	72W ~ 70W	500.0	-	-	-	-	-	-	20 D-5破砕帯 (軟弱な花崗岩幅) N5° E72° W~N13° E78° W D-5破砕帯 (白色粘土、軟弱な花崗岩及び亀裂の多い花崗岩) N5° E72° W~N13° E78° W N25° E71° W N14° E81° W 弱い破砕部 N11° E75° W

凡 例	
	アブライト
	破砕部
	節理

凡 例	
	最新活動面
	破砕幅
	断面ガウジ
	*1: 断面
	*2: 試験坑

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-70

6. D-5 破碎帯

性状一覧表 (2/5)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造	平滑さ		転動	水平	
D-5	H20-①-8 (傾斜45°)	73.91	74.75	N9W	84W	30.0	0.5	有	非平滑	80R (不明)	-	-	73 74 75
	H27-D5-1 (傾斜45°)	25.85	25.77	N21E	87W	8.0	0.1	有	平滑	80L	正	右	25
	1号伊 原手平建壁 南側斜面 剥ぎ取り部	-	-	N5W	56W	25.0	1.5	有 *1	平滑 *1	77L	正	-	
	H20-①-10 (鉛直)	50.90	52.95	N5	71W	74.0	0.5	有	非平滑	80R	-	-	50 51 52 53

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ	*1: 断層	
		*2: 基岩面	

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-71

6. D-5 破碎帯

性状一覧表 (3/5)

破碎帯番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-5	1号伊 原子伊建屋 南方斜道 小段 (72m直)	-	-	N40W	75W	100.0	1.2	有 *1	平滑 *1	90L	正	-	
	H20-①-4 (鉛直)	3.93	3.70	-	-	153.0	0.5	無	-	-	-	-	

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ	*1: 断層	
		*2: 破断域	

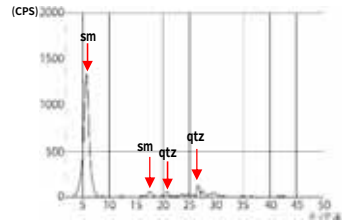
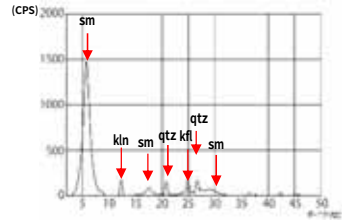
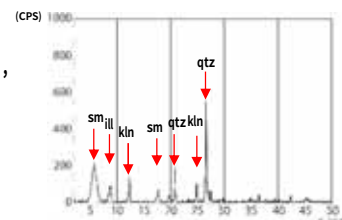
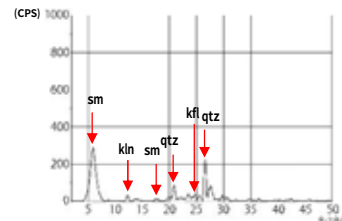
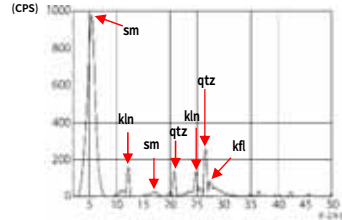
【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-72

6. D-5 破碎帯

性状一覧表 (4/5)

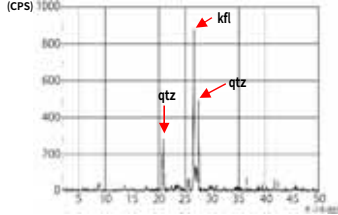
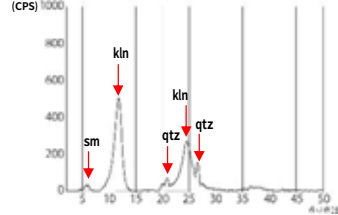
破碎帯名	確認箇所	断層ガウジの微細構造	X線回折分析
D-5 破碎帯	H19-No.4	- 構成粒子の円形度 : 0.3程度(亜円礫状)※ - 面構造が弱い。 	スメクタイト, 石英を含む。 
	1号炉原子炉建屋南側斜面	- 構成粒子の円形度 : 0.4程度(亜円礫状)※ - 面構造が弱い。 	スメクタイト, カオリナイト, 石英, カリ長石を含む。 
	H24-B11-1	- 構成粒子の円形度 : 0.4程度(亜円礫状)※ - 面構造が弱い。 	スメクタイト, カオリナイト, イライト, 石英を含む。 
	H24-B8-21	- 構成粒子の円形度 : 0.2程度(亜円礫状)※ - 面構造が弱い。 	スメクタイト, カオリナイト, 石英, カリ長石を含む。 
	H27-D5-1	- 構成粒子の円形度 : 0.4程度(亜円礫状)※ - 面構造が弱い。 	スメクタイト, カオリナイト, 石英を含む。 

※円形度:Krumbein(1941)の印象図に基づく

ill:イライト kln:カオリナイト sm:スメクタイト
kfl:カリ長石 qtz:石英

6. D-5 破碎帯

性状一覧表 (5/5)

破碎帯名	確認箇所	断層ガウジの微細構造	X線回折分析
D-5 破碎帯	H20-①-10		・石英, カリ長石を含む。 
	1号炉原子炉建屋 南方斜面 T.P.72m	・構成粒子の円形度 :0.4程度(歪円礫状)※ ・面構造が弱い。 	・カオリナイト, スメクタイト, 石英 を含む。 

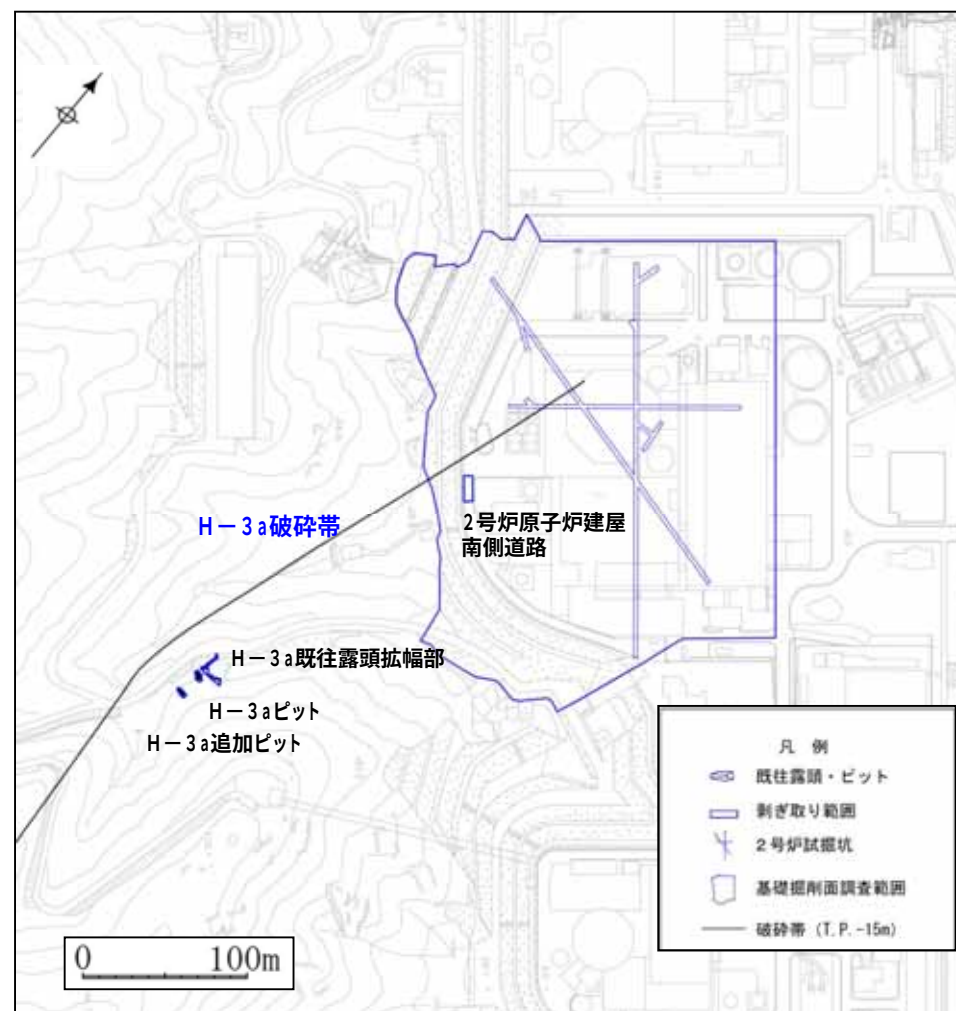
※円形度:Krumbein(1941)の印象図に基づく

kln:カオリナイト sm:スメクタイト
kfl:カリ長石 qtz:石英

余白

7. H—3 a 破碎帶

7. H-3a破碎帯 調査位置図

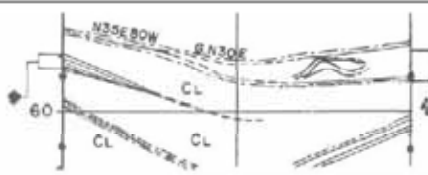
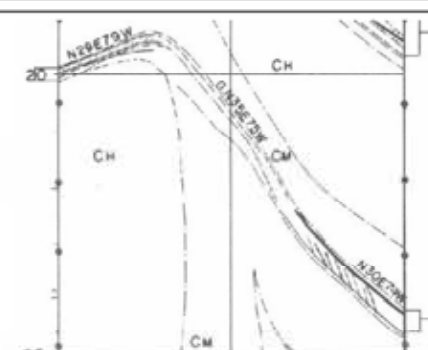
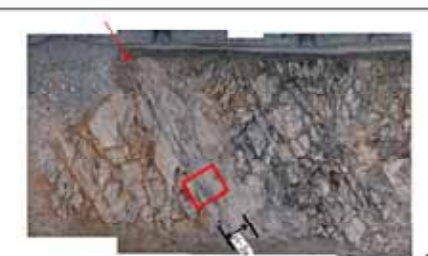


H-3a破碎帯調査位置図

7. H-3a 破碎帯

性状一覧表 (1/3)

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位センス	写真
		上盤深 度	下盤深 度					せん断構造 変形構造	平滑さ		
H-3a	2号機 試験坑	-	-	N35E	80W	55	0.6	-	-	-	 幅 1 ~ 55 cm の小角礫状部を主体とする破碎帯。上盤側境界と下盤側境界部にそれぞれ 2 ~ 4 mm の灰白色粘土と幅 1 ~ 2 mm の灰白色粘土がある。破碎帯の断面は湾曲している。(H-3a) 幅 2 ~ 20 cm の灰白色を偏し、主として粘土・シルトよりなる。熱水変質による粘土化の可能性が大きい。
	2号機 試験坑	-	-	N35E	75W	30.0	0.5	有 *2	非平滑 *2	-	 幅 20 ~ 30 cm の砂状・角礫状部を主体とする小破碎帯。幅 1 ~ 5 mm の白色粘土を伴う。砂状部の幅は 2 ~ 25 cm と変化する。全線の方向 S35°W/S35°E (H-3a)
	2号炉 原子炉 建屋南側 道路	-	-	N11E	75W	60.0	1.3	有 *1	平滑 *1	12L	 

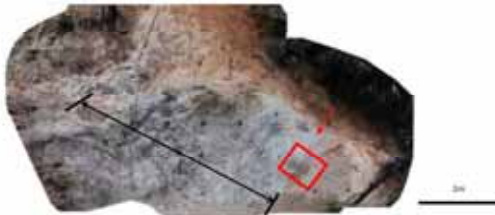
凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		*1: 断層
			*2: 試験坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

7. H-3a 破碎帯

性状一覧表 (2/3)

観測帯名	確認 箇所	観測帯範囲		走向	傾斜	観測幅 (cm)	断層 ガウジ の幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	方位センス		写真	
		上盤深 度	下盤深 度					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平		
H-3a	懸柱露頭	-	-	N12W	61E	300.0	4.0	有 ★1	平滑 ★1	14R	-	右		
	懸柱露頭 低部部	-	-	N4E	70E	100.0	4.0	有 ★1	平滑 ★1	-	-	-		
	追加ピット	-	-	N2E	57E	250.0	7.5	有 ★1	非平滑 ★1	-	-	-		

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		*1: 断層
			*2: 疑断層

【破碎幅】

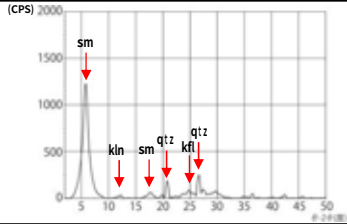
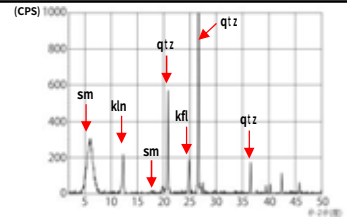
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

7. H-3a 破碎帯

性状一覧表 (3/3)

破碎帯名	確認箇所	断層ガウジの微細構造	X線回折分析
H-3a 破碎帯	2号炉原子炉建屋 南側道路	・構成粒子の円形度 :0.3~0.4程度(歪円礫状)※ ・面構造が弱い。 	・スメクタイト, カオリナイト, 石英, カリ長石を含む。 
	既往露頭	・構成粒子の円形度 :0.4程度(歪円礫状)※ ・面構造が弱い。 	・スメクタイト, カオリナイト, 石英, カリ長石を含む。 
	露頭拡幅部	・構成粒子の円形度 :0.4程度(歪円礫状)※ ・面構造が弱い。 	—

※円形度:Krumbein(1941)の印象図に基づく

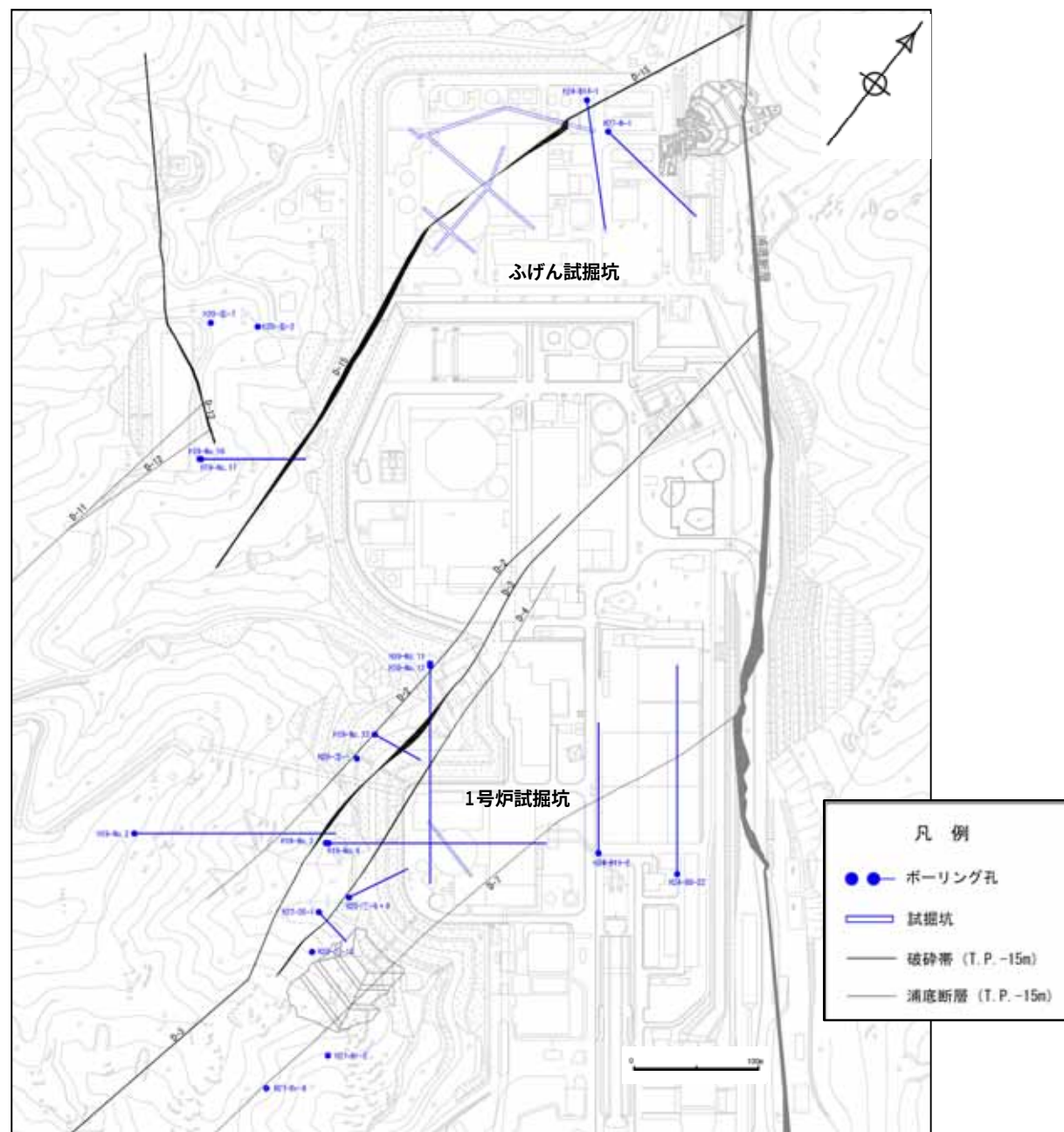
kln:カオリナイト sm:スメクタイト
kfl:カリ長石 qtz:石英

余白

8.D－2～D－16破碎帶

余白

8. D-2～D-16破碎帯 調査位置図



D-2～D-16破碎帯調査位置図

余白

8. D-2～D-16破碎帯
性状一覧表 (1/8)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全断 方向	変位センス		写真
		上部深部 (m)	下部深部 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-2	試断坑	-	-	N15E	88W	30.0	2.0	有 #2	非平滑 #2	-	-	-	
	H19-PNo.11 (断面)	36.60	37.00	-	-	11.0	-	-	-	-	-	-	
	H19-PNo.12 (断面45°)	36.35	36.58	N3E	53W	23.0	-	-	-	-	-	-	
	H19-PNo.13 (断面45°)	29.88	27.00	N5E	81W	6.7	-	-	-	-	-	-	

凡 例

最新活動面

破碎幅

断層ガウジ

#1: 断層

#2: 試断坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D-2～D-16破碎帯 性状一覧表 (2/8)

破碎帯名	確認 箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断面 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		多様 方向	方位センサ		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		傾度	水平	
D-2	H20-(3)-1 (鉛直)	33.85	34.50	N2E	82W	10.0	-	-	-	-	-	-	33 34 35
	H19-No.2 (傾斜42°)	186.53	188.58	N15E	61W	5.0	1.0	無	-	-	-	-	186 187
D-3	試験坑	-	-	N14E	80W	80.0	0.8	有 #2	非平滑 #2	-	-	-	11-8
	H19-No.12 (傾斜43°)	58.41	58.43	N48E	70W	2.0	2.0	有	非平滑	75L	-	-	58 59
	H19-No.13 (傾斜45°)	62.10	62.21	N5	84W	14.0	2.5	有	非平滑	70L	-	-	62 63

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断面ガウジ		#1: 断面
			#2: 試験坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D-2～D-16破碎帯 性状一覧表 (3/8)

破碎帯名	断面 図用	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全線 方向	変位センチ		写真
		上盤深度 (cm)	下盤深度 (cm)					せん断構造 変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-2	H19-Mu2 (傾斜42°)	207.94	208.69	N45	88W	71.3	9.0	有	非平滑	80L	-	-	207 208 209
	H19-Mu3 (鉛直)	30.38	30.48	-	-	5.0	5.0	有	非平滑	-	-	-	30 31
	H19-Mu4 (傾斜43°)	10.48	11.53	N21W	70W	85.2	7.7	有	非平滑	80L	-	-	10 11 12
	H27-Bu-1 (鉛直)	33.21	35.90	N28E	78W	41.1	1.5	有	非平滑	78R	正	-	33 34 35 36 37

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 断層域

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D-2～D-16 破碎帯 性状一覧表 (4/8)

破砕帯名	詳細 説明	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断面 ガウジの幅 (mm)	最新活動面		多線 方向	変位センチ		写真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 実形構造	平滑さ		鉛直	水平		
D-4	H19-No.12 (傾斜45°)	104.12	104.22	N44W	83W	7.9	1.3	無	-	-	-	-	104	105
	H19-No.4 (傾斜45°)	58.22	58.58	N10W	89W	26.6	-	-	-	-	-	-	59	60
	H20-1-8 (鉛直)	24.96	26.15	N5E	79W	23.0	10.0	無	-	-	-	-	24 25 26	25 26 27
	H20-1-9 (傾斜45°)	11.18	11.73	N21E	70W	26.0	-	-	-	-	-	-	11	12
	H27-Q5-1 (傾斜45°)	22.91	23.23	N35E	74W	28.4	0.3	無	-	90	正	-	22 23	23 24

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断面ガウジ		※ 1: 断面
			※ 2: 断面

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D-2～D-16 破碎帯 性状一覧表 (5/8)

破碎帯名	断面 図形	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全線 方向	変位センチ		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造 変位構造	平滑さ		距離	比率	
D-4	H20-T1-10 (配置)	9.01	10.28	N1W	81W	11.0	1.5	無	-	-	-	-	9 10 11
D-7	H24-B1-22 (傾斜45°)	143.52	143.78	N-S ・ 高角度 西傾斜		13.8	-	-	-	中角度 北	正	右	143 144
	H24-B11-2 (傾斜45°)	71.21	71.24	N-S ・ 高角度 西傾斜		1.0	-	-	-	高角度 北	正	右	71 72
	H19-P4-4 (傾斜45°)	207.89	207.72	N-S ・ 高角度 西傾斜		1.0	-	-	-	-	-	-	207 208
	H19-P6-12 (傾斜45°)	247.57	247.64	(未測定)		5.7	-	-	-	-	-	-	247 248
	H27-D1-2 (配置)	15.94	16.99	N-S ・ 高角度 西傾斜		28.9	-	-	-	高角度 北	正	-	15 16 17

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 節理域

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D-2～D-16 破碎帯
性状一覧表 (6/8)

破碎帯名	確認 箇所	破碎帯範囲		走向・ 傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センチ		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断構造 発露構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-7	HQ7-Dp-8 (鉛直)	32.97	34.58	N-S ・ 高角度 西傾斜	8.4	-	-	-	高角度 北	正	-	32
												33
												34
D-11	H19-Pb-18 (鉛直)	73.91	73.93	[未測定]	2.0	2.0	有	非平滑	-	-	-	73
												74
												68
D-12	H19-Pb-17 (傾斜65°)	68.94	69.25	N-S ・ 高角度 西傾斜	33.0	2.2	有	非平滑	-	-	-	69
												70
												79
D-12	H19-Pb-18 (鉛直)	79.22	79.25	[未測定]	2.5	2.5	無	-	-	-	-	80
												70
												71

最新活動面

破碎幅

断層ガウジ

● 1: 断層

● 2: 確認域

【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D-2～D-16 破碎帯
性状一覧表 (7/8)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全線方向	変位センチ				
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
D-13	H20-G-1 (鉛直)	47.73	47.90	HW-GE・中角度西傾斜	140	-	-	-	-	-	-	47		48
	H20-G-2 (鉛直)	12.15	12.85	(未測定)	30.0	2.5	無	-	-	-	-	12		13
	H20-G-3 (鉛直)	48.95	48.51	HW-GE・高角度西傾斜	38.0	-	-	-	-	-	46		47	
											47		48	
											48		49	

最新活動面

破碎幅

断層ガウジ

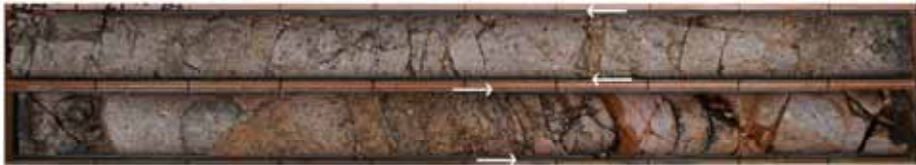
● 1: 断層

● 2: 確認点

【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D-2～D-16 破碎帯 性状一覧表 (8/8)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		全長 (m)	変位センチ		写真
		上部深さ (cm)	下部深さ (cm)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-15	H24-D15-1 (傾斜45°)	21.63	22.57	NE-SW ・高角度 西傾斜	87.9	-	-	-	-	-	-	21  22
	ふげん8坑	-	-	N-S ・90	30.0	10.0	-	-	-	-	-	図：写真及びスケッチ無し
	H19-No.16 (鉛直)	131.94	133.07	(未測定)	74.0	2.0	有	非平滑	-	-	-	131  132 133 134
	H19-No.17 (傾斜45°)	114.31	115.83	N-S ・高角度 西傾斜	83.0	3.3	有	非平滑	-	正	右	114  115 116
D-16	H19-No.18 (鉛直)	154.74	154.81	(未測定)	3.3	-	-	-	-	-	-	154  155
	H19-No.17 (傾斜45°)	117.77	117.79	N-S ・中角度 西傾斜	1.8	1.8	無	-	-	-	-	117  118

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 確認地

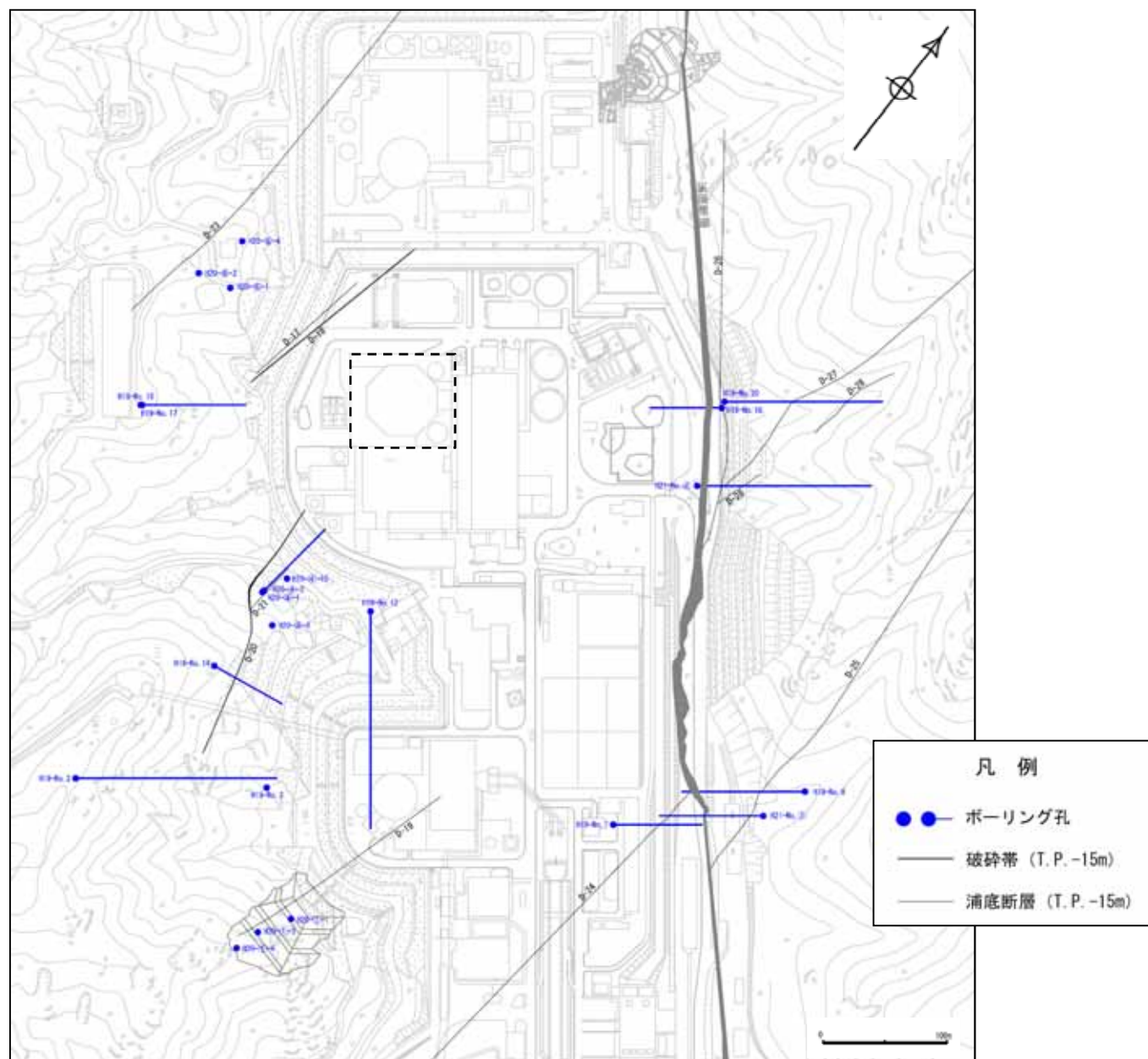
【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9.D—17～D—28破碎帶

余白

9. D-17～D-28 破碎帯
調査位置図



D-17～D-28 破碎帯調査位置図

余白

9. D-17～D-28 破碎帯
性状一覧表 (1/9)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断面ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位センス	傾度	水準	写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ				
D-17	H19-No.16 (鉛直)	158.45	158.51	(未測定)	2.2	-	-	-	-	-	-	158  159
	H19-No.17 (傾斜65°)	118.22	118.25	N-S・中角度西傾斜	2.2	2.2	無	-	-	-	-	118  119
D-18	H19-No.16 (鉛直)	159.23	159.62	(未測定)	22.0	-	-	-	-	-	-	159  160
	H19-No.17 (傾斜65°)	118.66	118.25	N-S・中角度西傾斜	53.0	2.6	無	-	-	-	-	118  119 119  120

凡 例

 : 最新活動面

 : 破碎幅

 : 断面ガウジ

 1: 断面

 2: 断面線

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9. D-17～D-28 破砕帯
性状一覧表 (2/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		多層方向	実地センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-18	H19-Ma.12 (傾斜45°)	226.53	226.79	(未測定)	20.0	1.5	無	—	—	—	—	228  229
	H20-[1]-1 (鉛直)	23.62	24.62	NE-SW ・高角度 西傾斜	30.0	—	—	—	—	—	—	23  24 24  25
	H20-[1]-3 (鉛直)	65.14	65.89	NE-SW ・高角度 北傾斜	47.0	—	—	—	—	—	—	65  66
	H20-[1]-4 (鉛直)	41.41	43.24	NE-SW ・高角度 西傾斜	57.0	0.5	無	—	—	—	—	41  42 42  43 43  44

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認点

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9. D-17～D-28 破碎帯
性状一覧表 (3/9)

破碎帯名	埋設箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断面ガウジの幅 (cm)	最新活動面		集積方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断破壊	平滑さ		鉛直	水平	
D-20	H20-4-2 (傾斜45°)	6.90	8.90	(未測定)	73.0	2.0	無	-	-	-	-	
	H20-4-1 (鉛直)	18.03	21.78	NW-SE 高角度 西傾斜	134.0	8.0	無	-	-	-	-	
	H20-4-3 (鉛直)	7.85	9.71	NW-SE 高角度 西傾斜	73.0	8.0	有	非平滑	-	-	-	

凡 例					
	最新活動面		破碎幅		断面ガウジ
					● 1: 断面
					● 2: 断面端

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-100

9. D-17～D-28 破碎帯
性状一覧表 (4/9)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断面 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		乗継方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-20	H19-No.14 (傾斜45°)	66.90	68.11	N-S ・ 高角度 西傾斜	72.0	2.8	無	—	—	—	—	66 67 68 69
	H19-No.2 (傾斜42°)	147.04	147.48	NW-SE ・ 高角度 西傾斜	41.0	2.3	無	—	—	—	—	147 148

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断面ガウジ		※1: 断面
			※2: 試掘地

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-101

9. D-17～D-28 破碎帯 性状一覧表 (5/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真	
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平		
D-21	H20-4E-10 (鉛直)	41.52	42.78	N-S 高角度 西傾斜	16.0	-	-	-	-	-	-	41 42 43	
	H20-4E-1 (鉛直)	63.91	64.44	N-S 高角度 西傾斜	17.0	-	-	-	-	-	-	63 64	
	H20-4E-5 (鉛直)	24.96	25.12	N-S 高角度 西傾斜	11.0	-	-	-	-	-	-	24 25	
	H20-5E-4 (鉛直)	46.34	46.66	N-S 高角度 西傾斜	13.0	-	-	-	-	-	-	46	
	H20-5E-1 (鉛直)	9.79	9.96	N-S 高角度 西傾斜	4.5	4.5	無	-	-	-	-	9	

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 断層域

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9. D-17～D-28 破碎帯 性状一覧表 (6/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条理方向	変位センス		写真	
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平		
D-23	H20-⑤-4 (鉛直)	50.55	50.58	N-S・中角度西傾斜	1.0	-	-	-	-	-	-	50 	51
	H20-⑤-2 (鉛直)	62.25	62.33	N-S・中角度西傾斜	4.1	-	-	-	-	-	-	62 	63
	H20-⑤-1 (鉛直)	21.62	21.94	N-S・中角度西傾斜	23.0	-	-	-	-	-	-	21 	22

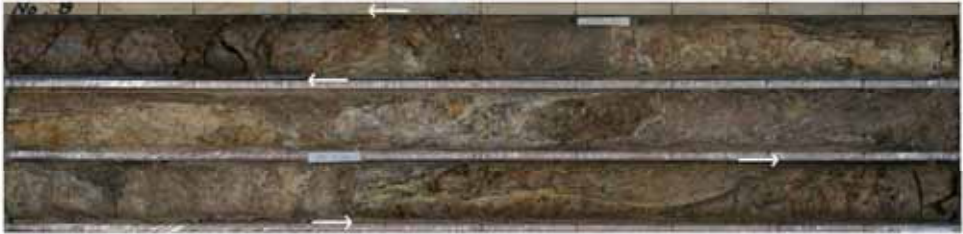
観測番号	確認箇所	観測帯範囲		走向	傾斜	観測幅 (cm)	新層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		集積方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)					せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-24	H21-No.① (傾斜45°)	112.88	113.66	N5E	77W	29.0	0.3	有	非平滑	80R	正	-	112 113 114 
	H19-No.② (傾斜45°)	78.22	79.56	N7E	87W	63.0	1.5	有	非平滑	80R	-	-	78 79 80 



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の
合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9. D-17～D-28 破碎帯
性状一覧表 (7/9)

破碎帯名	補註 箇所	破碎帯範囲		走向・ 傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		乗継 方向	露出セシス		写 真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造 変形構造	平滑さ		幅面	水平	
D-25	H21-Na.3 (傾斜45°)	102.96	104.50	N-S 高角度 西傾斜	83.3	1.0	有	非平滑	-	正	右	
	H19-Na.8 (傾斜60°)	75.34	77.75	N-S 高角度 西傾斜	113.0	-	-	-	-	-	-	

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 試掘坑

【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-104

9. D-17～D-28 破碎帯
性状一覧表 (8/9)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-26	H19-No18 (傾斜70°)	17.49	19.70	NW-SE ・高角度東傾斜	158.0	2.3	有	平滑	←	正	←	17 18 19 20
	H21-No18 (傾斜45°)	26.47	29.09	N-S ・高角度東傾斜	92.8	3.5	有	平滑	←	正	右	26 27 28 29

最新活動面

← →

破碎幅

断層ガウジ

● 1: 断層

● 2: 試掘坑

凡 例

【破碎幅】

粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの

非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9. D-17～D-28 破碎帯
性状一覧表 (9/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		乗継方向	変位センス		写真	
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平		
D-27	H19-No.20 (傾斜50°)	88.56	89.88	(未測定)	7.0	-	-	-	-	-	-	89	90
	H21-No.4 (傾斜45°)	20.87	31.45	N-S ・ 高角度 東傾斜	24.3	0.3	有	平滑	-	歪	歪	30 31	31 32
D-28	H19-No.20 (傾斜50°)	159.91	159.94	(未測定)	1.5~2.0	1.8	無	-	-	-	-	159	160
	H21-No.4 (傾斜45°)	56.56	56.90	N-S ・ 高角度 東傾斜	11.0	-	-	-	-	-	-	56	57

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認地

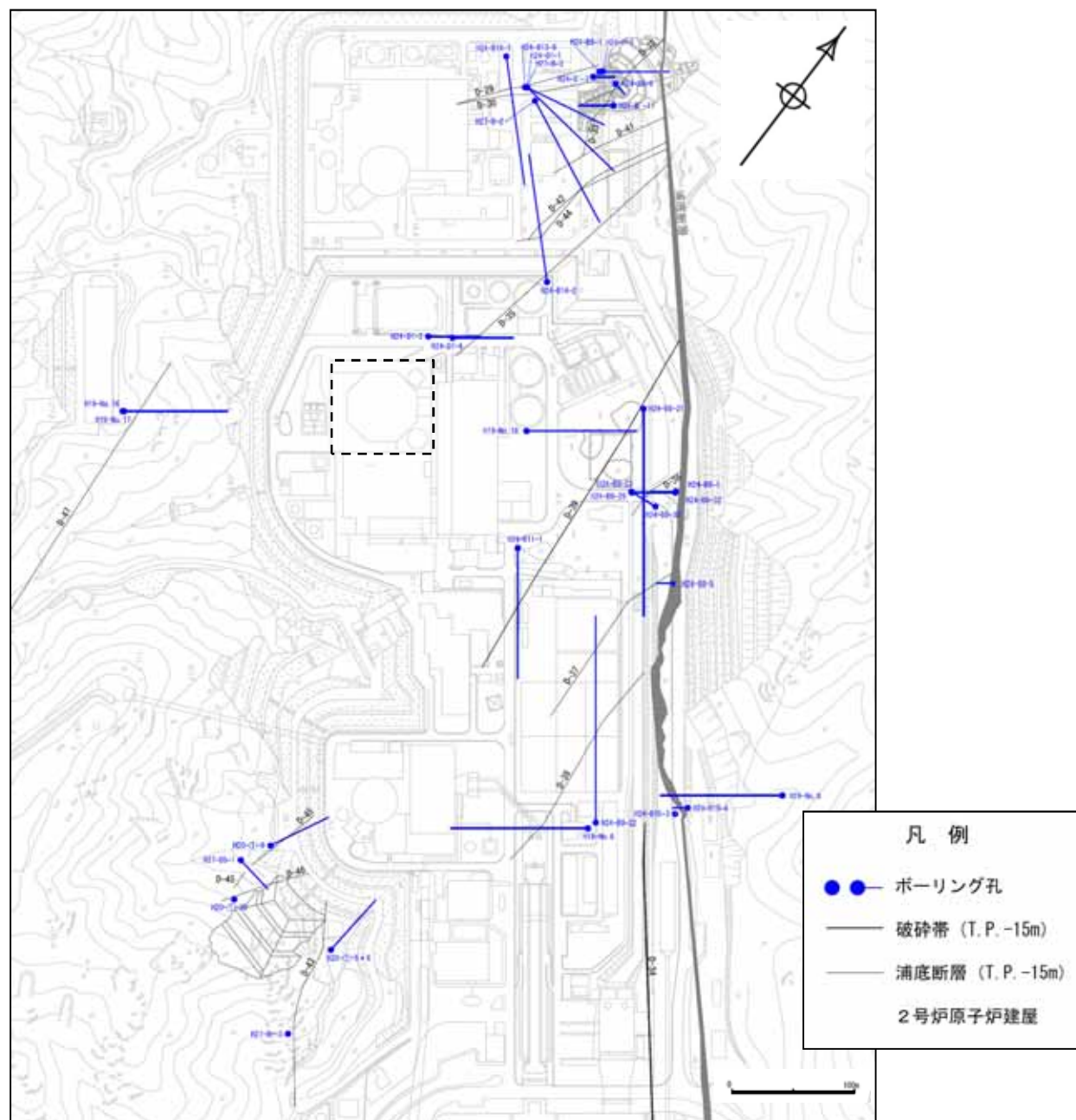
【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

10.D—29~D—47破碎帶

余白

10. D-29～D-47破碎帯 調査位置図



D-29～D-47破碎帯調査位置図

余白

10. D-29～D-47破碎帯
性状一覧表 (1/10)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位方向	変位センス		写真
		上層深さ (m)	下層深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-29	H24-B14-1 (傾斜45°)	37.88	37.91	NE-SW・高角度西傾斜	4.0	0.2	無	-	低角度面	-	左	37
	H24-B13-6 (鉛直)	12.28	12.58	(未測定)	7.8	0.2	無	-	-	-	-	12
D-30	H24-B14-1 (傾斜45°)	43.18	43.82	NE-SW・高角度東傾斜	21.4	0.3	無	-	-	-	-	43
	H24-B13-6 (鉛直)	8.57	8.86	(未測定)	3.8	1.1	無	-	-	-	-	8
D-31	H24-H-1 (傾斜70°)	4.34	4.43	(未測定)	8.8	-	-	-	-	-	-	4
	H24-B1-3 (傾斜45°)	4.80	4.90	N-S・高角度東傾斜	5.6	2.3	無	-	-	-	-	4

凡 例

最新活動面

破碎幅

断層ガウジ

● 1: 断層

● 2: 試験坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

10. D-29～D-47 破碎帯
性状一覧表 (2/10)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センチ		写真		
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造	平滑さ		前進	後退			
D-32	H24-D8-1 (傾斜45°)	38.35	38.40	N-S・高角度西傾斜	3.5	0.3	有	非平滑	-	-	-	38		39
	H24-D8-8 (傾斜15°)	24.89	24.78	N-S・高角度西傾斜	2.2	0.2	有	平滑	-	-	-	24		25
	南側ピット	-	-	(未測定)	2.0	0.7	有*1	非平滑*1	-	正	-			
D-33	H24-D1-17 (傾斜45°)	14.81	15.28	N-S・高角度東傾斜	24.0	0.8	無	-	-	-	-	14		15
												15		16
	H24-D1-1 (傾斜45°)	89.91	89.95	N-S・高角度東傾斜	2.0	1.8	無	-	中央部	正	右	89		90

凡 例					
	最新活動面		破碎幅		断層ガウジ
					*1: 断層
					*2: 試掘坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の
合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-112

10. D-29～D-47 破碎帯
 性状一覧表 (3/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断面 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		集積方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-34	H24-B15-4 (傾斜60°)	83.52	87.32	(未測定)	218.0	0.5	無	-	-	-	-	63 64 65 66 67
	H24-B15-3 (鉛直)	88.54	89.00	(未測定)	23.0	0.5	無	-	-	-	-	68 69
	H19-I60.8 (傾斜60°)	143.12	144.21	60°-SE 高角度 亜傾斜	90.0	1.5	無	-	-	-	-	143 144

最新活動面

← →

破碎幅

断面ガウジ

● 1: 断面

● 2: 断面境

凡 例

【破碎幅】

粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの

非平滑：最新活動面が湾曲するもの

10. D-29～D-47破碎帯
性状一覧表 (4/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		集積方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-35	H24-D1-3 (傾斜45°)	56.88	57.24	N-S 高角度 西傾斜	17.5	0.5	有	非平滑	中央直北	正	右	
	H24-D1-4 (傾斜45°)	27.75	28.43	N-S 高角度 西傾斜	40.9	0.4	有	非平滑	90	正	-	



【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

10. D-29～D-47破碎帯
性状一覧表 (5/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	新層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条理方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断破壊	平滑さ		鉛直	水平	
D-36	H24-08-23 (傾斜65°)	29.89	30.16	N-S・高角度東傾斜	13.0	1.8	有	非平滑	-	-	-	29 30 31
	H24-08-29 (傾斜60°)	21.06	21.27	N-S・高角度東傾斜	17.7	-	-	-	-	-	-	21 22
	H24-09-1 (傾斜55°)	31.18	34.55	N-S・高角度東傾斜	212.1	3.3	有	非平滑	-	-	-	31 32 33 34 35
	H24-08-32 (傾斜50°)	22.25	22.62	N-S・高角度東傾斜	22.1	1.3	有	非平滑	-	-	-	32 33
	H24-08-30 (傾斜65°)	26.70	26.87	N-S・高角度東傾斜	10.9	1.0	有	非平滑	-	-	-	26 27

※ ボアホールカメラでの計測が未実施であるため、図解している傾斜は08-32で得られた走向傾斜のデータを使用している。

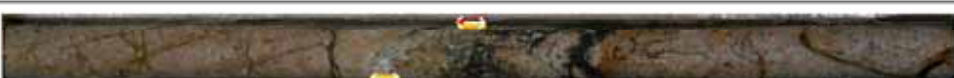
凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	新層ガウジ		※ 1: 原層
			※ 2: 確認点

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の
合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-115

10. D-29～D-47 破碎帯
性状一覧表 (6/10)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
D-37	H24-B8-21 (傾斜45°)	234.23	234.38	N-S 高角度 東傾斜	3.6	1.0	無	-	低角度 南	-	右	234		235
	H24-B8-5 (傾斜70°)	33.94	36.97	(未測定)	103.6	0.8	有	非平滑	-	-	-	33 34 35 36 37		34 35 36 37
D-38	H24-B8-22 (傾斜45°)	114.71	115.12	N-S 高角度 西傾斜	21.0	-	-	-	中角度 北	正	右	114 115		115 116
	H19-No.8 (傾斜50°)	73.43	73.45	N-S 高角度 西傾斜	1.2	1.2	無	-	-	-	-	73		74

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ	● 1: 断層	● 2: 確認点

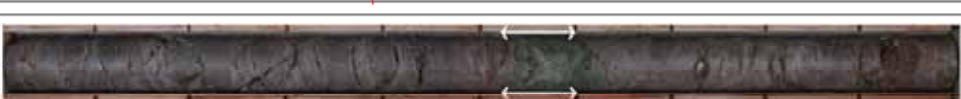
【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-116

10. D-29～D-47 破碎帯 性状一覧表 (7/10)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上部深度 (m)	下部深度 (m)					せん断構造	変形構造		平滑さ	鉛直		水平	
D-39	H19-Nb-1B (傾斜60°)	143.30	148.76	-	-	26.0	1.5	無	-	-	-	-	148		149
	H24-B11-1 (傾斜45°)	60.38	60.60	N4E	64W	24.0	0.9	無	-	62R	正	左	60		61

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-41	H23-B-1 (傾斜45°)	118.94	119.12	NE-SW 高角度東傾斜	15.1	1.5	有	非平滑	中央度周	正	右	118  119 119  120
	H23-B-2 (傾斜45°)	88.38	88.43	NE-SW 高角度東傾斜	3.9	0.5	無	-	中央度周	正	右	88  89 89  90
	H24-B14-2 (傾斜45°)	105.54	105.61	NE-S 高角度東傾斜	4.9	-	-	-	-	-	-	-

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認地

【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-117

10. D-29～D-47破碎帯 性状一覧表 (8/10)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向		変位センス		写真		
		上層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断構造	平滑さ	傾斜	鉛直	水平				
D-42	H27-D-1 (傾斜45°)	139.62	139.68	N4E-SW ・ 高角度東傾斜	4.4	0.1	無	-	中角度南	正	右	139		140	
	H27-D-2 (傾斜45°)	127.41	127.48	N-S ・ 高角度東傾斜	5.6	-	-	-	低角度南	-	右	127		128	
	H24-D14-2 (傾斜45°)	60.85	61.12	N-S ・ 高角度東傾斜	19.7	-	-	-	-	-	-	-	60 61 62		61 62
D-43	H20-①-5 (鉛直)	31.28	31.44	N60-SE ・ 高角度西傾斜	5.0	-	-	-	-	-	-	-	31		32
	H20-①-8 (傾斜50°)	14.41	14.42	N60-SE ・ 高角度南傾斜	1.5	-	-	-	-	-	-	-	14		15
	H27-D-3 (鉛直)	77.72	77.90	N60-SE ・ 高角度西傾斜	4.4	-	-	-	-	-	-	-	77		78



【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-118

10. D-29～D-47破砕帯 性状一覧表 (9/10)

破砕帯名	破砕帯 箇所	破砕帯範囲		走向・ 傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-44	H27-B-2 (傾斜45°)	128.82	128.97	NE-SW ・ 高角度 東傾斜	12.1	0.5	無	-	低角度 北	-	右	128
	H24-D14-2 (傾斜45°)	49.24	49.55	NE-SW ・ 高角度 東傾斜	25.4	2.5	有	非平滑	高角度 南	正	-	49
D-45	H20-I-8 (傾斜45°)	43.17	43.24	N-S ・ 高角度 西傾斜	3.5	2.0	有	非平滑	-	-	-	43
	H27-D5-1 (傾斜45°)	25.17	25.44	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	4.2	1.5	無	-	高角度 北	正	-	25
	H20-I-10 (鉛直)	48.10	48.24	N-S ・ 高角度 西傾斜	3.9	-	-	-	-	-	-	48
D-46	H27-D5-1 (傾斜45°)	45.12	45.37	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	7.7	1.0	有	非平滑	高角度 南	正	-	45
	H20-I-10 (鉛直)	55.99	56.05	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	1.3	1.3	無	-	-	-	-	55 56 57

※傾斜が急なため破砕幅を示せるのは下のみ。56.00～56.05mでは、コア回転のため写真に破砕部が写れない。

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 破砕帯

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

10. D-29～D-47 破碎帯
 性状一覧表 (10/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条理方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
D-47	H19-No.16 (鉛直)	93.75	96.18	(未測定)	83.0	-	-	-	-	-	-	93  94
												94  95
												95  96
												96  97
	H19-No.17 (傾斜65°)	82.83	85.81	N-S 中角度 西傾斜	273.0	-	-	-	-	-	-	82  83
												83  84
												84  85
												85  86



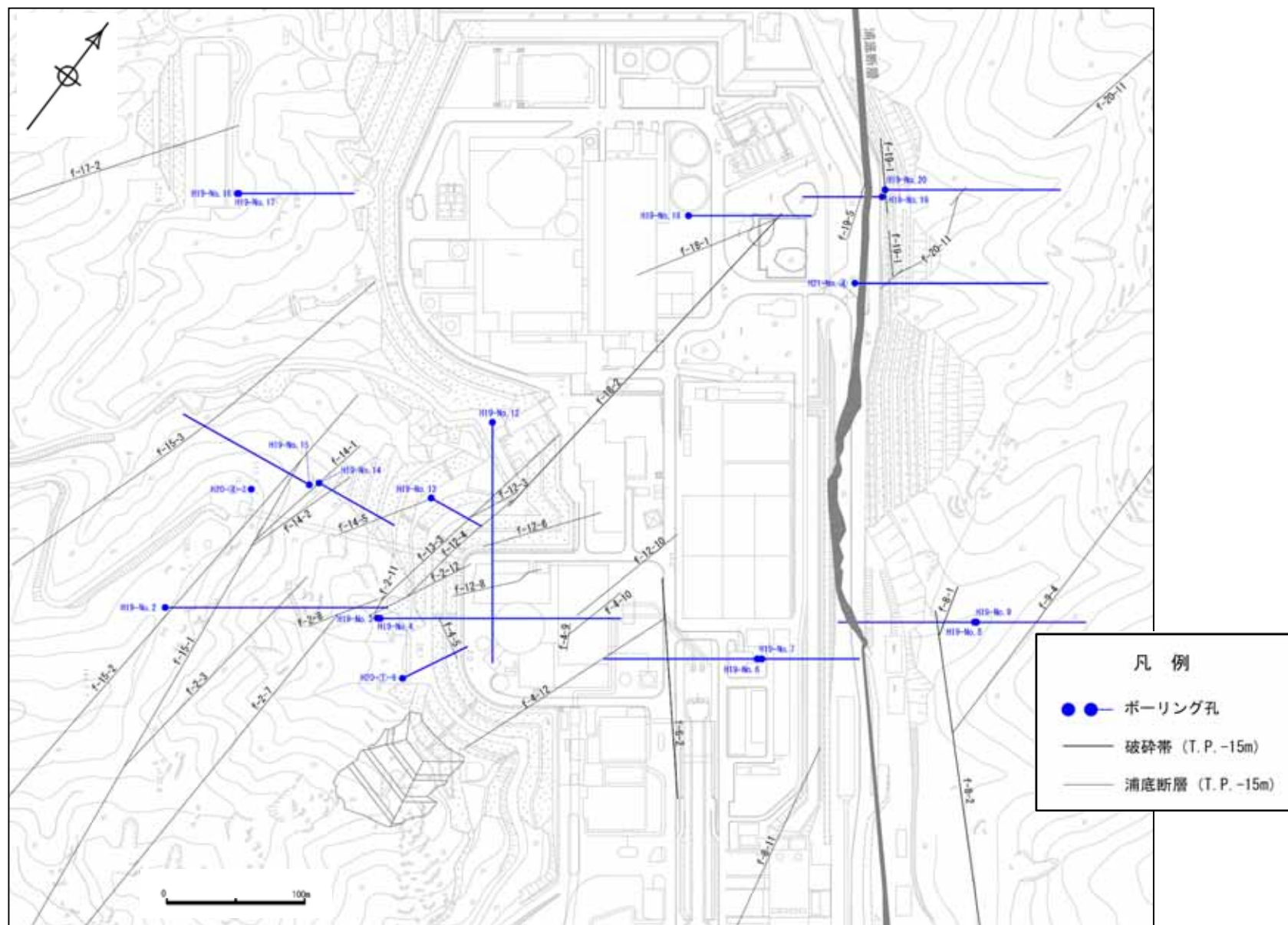
【破碎幅】
 粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
 固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
 の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
 平 滑：最新活動面が直線的なもの
 非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f-2-3~f-20-11破碎帶

余白

11.f-2-3~f-20-11破碎帯
調査位置図



f-2-3~f-20-11破碎帯調査位置図

余白

11.f-2-3～f-20-11破碎帯 性状一覧表 (1/9)

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破碎帯名	柱状 番号	破碎帯範囲		走向・ 傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位 方向	変位センス		写 真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-2-3	H19-No.2 (傾斜42°)	146.29	146.32	N-S ・ 高角度 西傾斜	3.0	3.0	無	-	-	-	-	146  147
f-2-7	H19-No.2 (傾斜42°)	191.10	191.14	N-S ・ 高角度 西傾斜	3.0	-	-	-	-	-	-	191  192
f-2-8	H19-No.2 (傾斜42°)	202.81	202.85	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	4.0	2.2	無	-	-	-	-	202  203
	H19-No.3 (鉛直)	28.77	28.82	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	2.0	-	-	-	-	-	-	28  29
f-2-10	H19-No.2 (傾斜42°)	212.00	212.07	N-S ・ 高角度 西傾斜	4.5	3.8	無	-	-	-	-	212  213
	H19-No.3 (鉛直)	42.75	42.81	N-S ・ 高角度 西傾斜	1.5	-	-	-	-	-	-	42  43
	H19-No.4 (傾斜45°)	16.13	16.31	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	5.8	-	-	-	-	-	-	16  17



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f-2-3～f-20-11破碎帯
性状一覧表 (2/9)

破碎帯名	建設箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条理方向	変位センス		写真
		上層深さ (m)	下層深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-2-11	HTD-No.2 (傾斜42°)	215.42	215.48	N-S・高角度西傾斜	3.0	3.0	無	—	—	—	—	215
	HTD-No.4 (傾斜45°)	22.20	22.26	N-S・高角度西傾斜	5.0	—	—	—	—	—	—	23
f-2-12	HTD-No.2 (傾斜42°)	216.15	216.24	NE-SW・高角度西傾斜	5.0	—	—	—	—	—	—	216
	HTD-No.3 (鉛直)	50.30	50.48	NE-SW・高角度西傾斜	5.0	—	—	—	—	—	—	50
	HTD-No.4 (傾斜45°)	34.24	34.38	N-S・高角度西傾斜	5.6	—	—	—	—	—	—	34
f-4-3	HTD-No.4 (傾斜45°)	46.13	46.38	NE-SW・高角度西傾斜	22.3	—	—	—	—	—	—	46
f-4-5	HTD-No.4 (傾斜45°)	60.22	60.38	E-W・高角度北傾斜	2.0	—	—	—	—	—	—	60
	H20-(T)-9 (傾斜45°)	71.43	71.48	E-W・高角度北傾斜	1.5	—	—	—	—	—	—	71

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 節理

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の
合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f-2-3~f-20-11破碎帯
性状一覧表 (3/9)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		乗継方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-4-9	H11B-No.4 (傾斜45°)	175.27	175.28	N40-E 高角度 西傾斜	1.1	1.1	無	-	-	-	-	175 176
f-4-10	H11B-No.4 (傾斜45°)	175.64	175.65	N-S 高角度 西傾斜	1.0	-	-	-	-	-	-	175 176
f-4-12	H11B-No.4 (傾斜45°)	218.73	218.74	N-S 高角度 西傾斜	1.0	1.0	無	-	-	-	-	218 219
f-4-2	H11B-No.4 (傾斜45°)	234.32	235.15	N40-E 高角度 西傾斜	134.0	-	-	-	-	-	-	234 235 236 237
	H11B-No.6 (傾斜50°)	167.33	168.54	N40-E 高角度 西傾斜	80.0	3.0	無	-	-	-	-	167 168 169

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 確認点

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-127

11.f-2-3~f-20-11破碎帯
性状一覧表 (4/9)

破碎帯名	建設箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-2-1	HTD-No.8 (傾斜60°)	43.44	43.85	Fr-G 高角度東傾斜	13.0	-	-	-	-	-	-	43
f-2-2	HTD-No.8 (傾斜60°)	53.09	53.41	Fr-G 高角度東傾斜	18.0	-	-	-	-	-	-	53
f-2-6	HTD-No.8 (傾斜60°)	137.85	137.98	NW-SSE 高角度東傾斜	2.5	-	-	-	-	-	-	137
f-2-11	HTD-No.8 (傾斜60°)	155.50	155.55	Fr-G 高角度西傾斜	9.0	-	-	-	-	-	-	155
	HTD-No.7 (傾斜65°)	151.35	151.38	Fr-G 高角度東傾斜	1.0	-	-	-	-	-	-	151
f-2-4	HTD-No.8 (傾斜60°)	101.52	102.50	(未測定)	28.0	1.8	有	非平滑	-	-	-	101 102 103 104

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 疑断層

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f-2-3~f-20-11破碎帯
性状一覧表 (5/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
F-12-3	H19-No.12 (傾斜45°)	82.48	82.50	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	2.0	-	-	-	-	-	-	82		83
F-12-4	H19-No.12 (傾斜45°)	90.45	90.68	N-S ・ 高角度 西傾斜	19.0	-	-	-	-	-	-	90		91
	H19-No.12 (傾斜45°)	81.82	82.37	N-S ・ 高角度 西傾斜	27.0	-	-	-	-	-	-	81		82
												82		83
	H19-No.4 (傾斜45°)	24.12	24.41	N-S ・ 高角度 西傾斜	28.0	-	-	-	-	-	-	24		25
F-12-8	H19-No.12 (傾斜45°)	119.64	119.72	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	8.3	-	-	-	-	-	-	119		120
F-12-7	H19-No.12 (傾斜45°)	152.08	152.09	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	3.0	3.0	無	-	-	-	-	152		153

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 確認地

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f-2-3~f-20-11破碎帯
性状一覧表 (6/9)

破碎帯番号	破砕箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	方位センサ		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造	平滑さ		方位	水平	
f-12-9	H19-No.12 (傾斜45°)	109.30	109.46	N-S ・ 高角度 西傾斜	6.2	6.2	無	—	—	—	—	169
f-12-10	H19-No.12 (傾斜45°)	222.85	222.88	N-S ・ 高角度 西傾斜	1.8	—	—	—	—	—	—	222
	H19-No.4 (傾斜45°)	159.77	159.88	N-S ・ 高角度 西傾斜	3.0	—	—	—	—	—	—	160
f-13-3	H19-No.12 (傾斜45°)	75.04	75.08	N-S ・ 高角度 西傾斜	3.0	—	—	—	—	—	—	76
	H19-No.13 (傾斜45°)	74.52	74.59	N-S ・ 高角度 西傾斜	3.0	—	—	—	—	—	—	75

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 断層域

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f-2-3~f-20-11破碎帯
性状一覧表 (7/9)

破碎帯名	地層 番号	破碎帯範囲		走向・ 傾斜	破碎幅 (cm)	断面 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	方位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造 定形構造	平滑さ		傾度	系平	
f-14-1	H19-No.14 (傾斜45°)	40.56	40.57	N-S ・ 高角度 西傾斜	1.0	-	-	-	-	-	-	40
	H19-No.2 (傾斜42°)	81.25	81.30	N-S ・ 高角度 西傾斜	5.0	-	-	-	-	-	-	61
f-14-2	H19-No.14 (傾斜45°)	45.63	45.70	N-S ・ 高角度 西傾斜	7.0	4.5	有	非平滑	-	-	-	45
f-14-5	H19-No.14 (傾斜45°)	123.32	123.34	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	1.5	1.5	無	-	-	-	-	123
f-15-1	H19-No.15 (傾斜45°)	24.58	24.67	N-S ・ 高角度 東傾斜	6.6	1.2	無	-	-	-	-	24
	H19-No.2 (傾斜42°)	38.83	38.88	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	4.0	-	-	-	-	-	-	39
f-15-2	H19-No.15 (傾斜45°)	25.83	25.93	N-S ・ 高角度 東傾斜	8.0	5.0	無	-	-	-	-	25
	H19-No.2 (傾斜42°)	2.35	2.42	(未測定)	4.5	-	-	-	-	-	-	2



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f-2-3~f-20-11破碎帯
性状一覧表 (8/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	方位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		前面	水平	
f-15-3	H19-Na.15 (傾斜45°)	97.82	97.85	N-S + 高角度 西傾斜	1.5	1.0	無	—	—	—	—	97
	H20-2-3 (鉛直)	13.41	13.45	N-S + 高角度 西傾斜	1.4	—	—	—	—	—	—	14
f-17-2	H19-Na.16 (鉛直)	35.33	35.35	(未測定)	1.0	—	—	—	—	—	—	35
	H19-Na.17 (傾斜65°)	32.54	32.75	NE-SW + 中角度 西傾斜	19.0	—	—	—	—	—	—	32
f-18-1	H19-Na.18 (傾斜60°)	92.14	92.18	NE-SW + 高角度 西傾斜	1.0	1.0	無	—	—	—	—	92
f-18-2	H19-Na.18 (傾斜60°)	122.16	122.35	N-S + 高角度 西傾斜	10.0	—	—	—	—	—	—	122

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認地

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f-2-3～f-20-11破碎帯 性状一覧表 (9/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真	
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造・変形構造	平滑さ		鉛直	水平		
F-19-1	H19-No.19 (傾斜70°)	14.73	14.88	N40-W ・ 高角度東傾斜	13.0	13.0	青	非平滑	-	-	-	14	15
F-19-5	H19-No.19 (傾斜70°)	55.49	55.58	N-S ・ 高角度西傾斜	1.5	1.5	青	非平滑	-	-	-	55	56
F-19-8	H19-No.18 (傾斜70°)	147.93	148.12	N-S ・ 高角度東傾斜	19.0	2.0	青	非平滑	-	-	-	147	148
F-20-11	H19-No.20 (傾斜50°)	134.87	134.93	(未測定)	3.0	-	-	-	-	-	-	134	135
	H21-No.6 (傾斜45°)	33.71	33.85	N-S ・ 高角度東傾斜	3.4	-	-	-	-	-	-	33	34

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 確認地

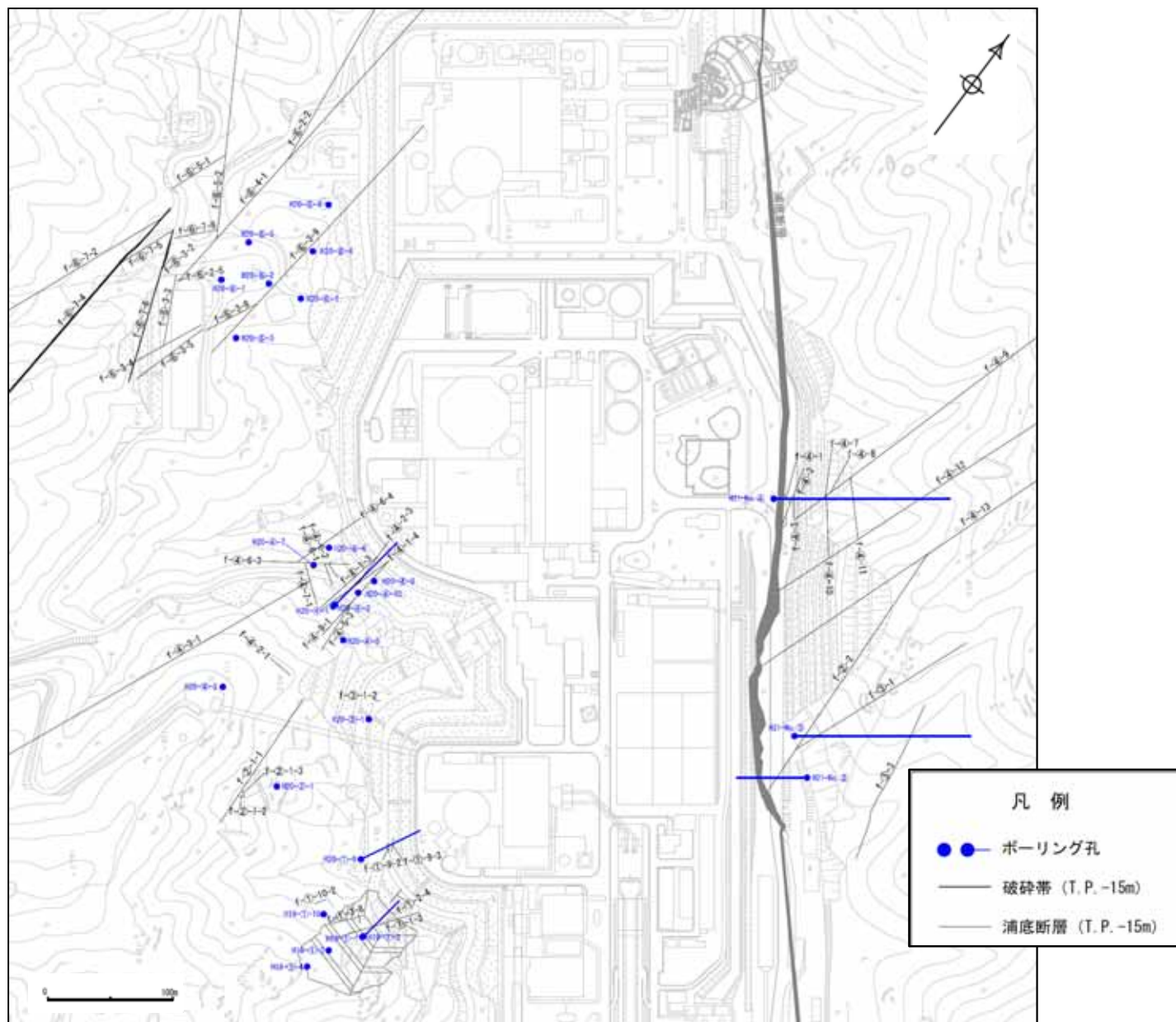
【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3~f-④-13破碎帶

余白

12.f-①-1-3~f-④-13破碎帯
調査位置図



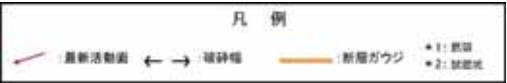
f-①-1-3~f-④-13破碎帯調査位置図

余白

12.f-①-1-3～f-④-13 破碎帯
性状一覧表 (1/17)

- ・ 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- ・ 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- ・ なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位センス	写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)				せん断構造	平滑さ		
f-①-1-3	H19-H20 T2 (傾斜45°)	230.00	230.07	(未測定)	4.5	-	-	-	-	230
	H20-[①]-1 (鉛直)	68.72	69.02	NE-SW ・高角度 西傾斜	15.0	4.7	無	-	-	68 69
	H20-[①]-3 (鉛直)	72.50	72.68	NE-SW ・高角度 西傾斜	5.2	-	-	-	-	72
	H20-[①]-4 (鉛直)	60.47	60.67	(未測定)	5.8	-	-	-	-	60
f-①-2-2	H20-[①]-2 (傾斜54°)	22.63	22.66	NE-SW ・中角度 北傾斜	3.0	2.0	有	非平滑	-	22
	H20-[①]-4 (鉛直)	12.25	12.26	(未測定)	1.0	-	-	-	-	12
f-①-2-4	H20-[①]-2 (傾斜54°)	66.06	67.28	N-S ・高角度 西傾斜	21.0	-	-	-	-	66 67



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3~f-④-13破碎帯
性状一覧表 (2/17)

観測番号	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
f-①-3-4	H20-①-3 (鉛直)	11.06	11.17	N-S ・ 高角度 西傾斜	4.0	4.0	無	-	-	-	-	11		
f-①-3-5	H20-①-3 (鉛直)	23.26	23.62	N-S ・ 中角度 西傾斜	17.0	-	-	-	-	-	-	23		24
	H20-①-4 (鉛直)	31.63	31.87	N-S ・ 中角度 西傾斜	14.0	-	-	-	-	-	-	31		32
f-①-3-6	H20-①-3 (鉛直)	24.43	25.00	NW-SE ・ 高角度 西傾斜	37.0	-	-	-	-	-	-	24		25
f-①-3-7	H20-①-3 (鉛直)	48.20	48.24	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	1.0	1.0	無	-	-	-	-	48		49
f-①-3-8	H20-①-3 (鉛直)	50.06	50.15	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	7.0	-	-	-	-	-	-	50		51

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 確認地

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3~f-④-13破碎帯
性状一覧表 (3/17)

破碎帯番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-①-4-3	H20-①-4 (鉛直)	21.10	21.15	N-S ・ 高角度 西傾斜	1.5	-	-	-	-	-	-	21
f-①-9-2	H20-①-9 (傾斜45°)	40.52	40.54	NW-SE ・ 中角度 西傾斜	2.0	-	-	-	-	-	-	46
f-①-9-3	H20-①-9 (傾斜45°)	51.50	51.53	NW-SE ・ 高角度 西傾斜	2.8	2.8	有	非平滑	-	-	-	52
f-①-10-2	H20-①-10 (鉛直)	18.16	18.84	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	13.0	-	-	-	-	-	-	18
f-②-1-1	H20-②-1 (鉛直)	45.13	46.34	N-S ・ 高角度 西傾斜	53.0	3.0	無	-	-	-	-	45
												46
f-②-1-2	H20-②-1 (鉛直)	46.85	46.97	NE-SW ・ 高角度 南傾斜	3.7	0.6	無	-	-	-	-	46
f-②-1-3	H20-②-1 (鉛直)	48.26	48.95	NW-SE ・ 高角度 南傾斜	25.0	0.7	有	非平滑	-	-	-	48

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認地

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13破碎帯
性状一覧表 (4/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
F-③-1-1	H20-③-1 (鉛直)	8.18	8.22	E-W 高角度 南傾斜	1.0	-	-	-	-	-	-	8		
F-③-1-2	H20-③-1 (鉛直)	18.48	18.53	NE-SW 高角度 北傾斜	1.9	1.9	無	-	-	-	-	18		19
F-④-1-2	H20-④-2 (傾斜45°)	14.83	14.88	(未測定)	2.2	-	-	-	-	-	-	14		15
	H20-④-1 (鉛直)	23.27	23.31	N-S 高角度 西傾斜	1.0	1.0	有	非平滑	-	-	-	23		24
F-④-1-3	H20-④-2 (傾斜45°)	74.45	74.50	N-S 高角度 西傾斜	3.4	-	-	-	-	-	-	74		75
	H20-④-1 (鉛直)	39.78	39.98	N-S 高角度 西傾斜	2.8	-	-	-	-	-	-	39		40

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 確認域

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3~f-④-13破碎帯
性状一覧表 (5/17)

破碎帯番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-①-1-4	H20-④-9 (鉛直)	23.95	24.33	N-S・高角度西傾斜	8.0	-	-	-	-	-	-	23 24 25
	H20-④-10 (鉛直)	38.12	39.43	N-S・高角度西傾斜	24.0	-	-	-	-	-	-	39 40
	H20-④-11 (鉛直)	58.87	59.39	N-S・高角度西傾斜	22.0	-	-	-	-	-	-	58 59 60
f-④-2-1	H20-④-2 (傾斜45°)	8.00	8.12	E-W・中角度南傾斜	10.0	-	-	-	-	-	-	6 7
	H20-④-1 (鉛直)	8.33	8.61	E-W・中角度南傾斜	14.0	-	-	-	-	-	-	9 10
f-④-2-3	H20-④-9 (鉛直)	20.72	20.85	N-S・高角度西傾斜	4.4	-	-	-	-	-	-	20 21
	H20-④-2 (傾斜45°)	82.34	82.41	N-S・高角度西傾斜	2.5	-	-	-	-	-	-	82 83



【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13破碎帯
性状一覧表 (6/17)

破碎帯番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断様式	平滑さ		鉛直	水平	
f-①-3-1	H19-No.15 (傾斜45°)	46.92	46.93	N-S ・ 高角度 西傾斜	1.0	-	-	-	-	-	-	46
	H20-④-3 (鉛直)	25.81	25.85	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	2.1	2.1	断	-	-	-	-	25
f-④-5-3	H20-④-5 (鉛直)	51.86	52.18	N-S ・ 高角度 西傾斜	14.0	-	-	-	-	-	-	51 52
	H19-No.14 (傾斜63°)	72.43	72.70	NW-SE ・ 高角度 西傾斜	17.0	-	-	-	-	-	-	72
f-④-8-1	H20-④-8 (鉛直)	3.76	4.09	NW-SE ・ 高角度 南傾斜	8.0	-	-	-	-	-	-	3 4

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認点

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3~f-④-13 破碎帯
性状一覧表 (7/17)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-④-8-2	H20-④-8 (鉛直)	7.94	9.00	E-W ・ 高角度 南傾斜	27.0	-	-	-	-	-	-	7 8 9
f-④-8-3	H20-④-8 (鉛直)	14.94	14.99	NE-SW ・ 高角度 南傾斜	2.7	0.3	有	非平滑	-	-	-	14 15
f-④-8-4	H20-④-8 (鉛直)	25.70	25.80	N-S ・ 高角度 南傾斜	2.1	-	-	-	-	-	-	25 26
f-④-7-1	H20-④-7 (鉛直)	22.75	23.53	NW-SE ・ 高角度 南傾斜	30.0	0.3	有	非平滑	-	-	-	22 23 24
f-④-8-1	H20-④-8 (鉛直)	40.10	40.68	N-S ・ 高角度 西傾斜	26.0	-	-	-	-	-	-	40 41
	H20-④-5 (鉛直)	38.73	38.74	N-S ・ 高角度 西傾斜	1.0	-	-	-	-	-	-	38 39

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認点

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13破碎帯
性状一覧表 (8/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		縦置	水平			
F-①-1-2	H20-①-1 (和直)	16.17	16.26	N-S 中角度 西傾斜	6.5	1.0	無	-	-	-	-	16		17
F-①-1-3	H20-①-1 (和直)	17.86	18.17	N-S 高角度 西傾斜	14.0	2.0	無	-	-	-	-	17		18
												18		19
F-①-2-2	H20-①-2 (和直)	18.30	18.41	N-S 高角度 西傾斜	5.0	1.0	無	-	-	-	-	18		19
F-①-2-3	H20-①-6 (和直)	25.03	25.10	NE-SW 中角度 西傾斜	5.0	-	-	-	-	-	-	25		26
	H20-①-4 (和直)	27.73	27.74	N-S 中角度 西傾斜	1.0	-	-	-	-	-	-	27		28
	H20-①-8 (和直)	32.00	32.06	N-S 低角度 西傾斜	3.5	0.1	有	非平滑	-	-	-	32		33



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13破碎帯
性状一覧表 (9/17)

破碎帯名	確認 箇所	破碎帯範囲		走向・ 傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)				せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-⑤-2-4	H20-⑤-6 (鉛直)	35.97	36.14	N-S ・ 中角度 西傾斜	9.0	-	-	-	-	-	-	35 36 37
	H20-⑤-4 (鉛直)	36.83	37.27	N-S ・ 中角度 西傾斜	30.0	-	-	-	-	-	-	36 37 38
	H20-⑤-2 (鉛直)	37.27	37.50	NE-SW ・ 低角度 西傾斜	21.0	1.2	無	-	-	-	-	37 38
f-⑤-2-5	H20-⑤-7 (鉛直)	67.88	68.20	N-S ・ 中角度 西傾斜	6.7	-	-	-	-	-	-	67 68 69
	H20-⑤-2 (鉛直)	44.73	44.79	N-S ・ 中角度 西傾斜	5.5	-	-	-	-	-	-	44 45

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認地

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13 破碎帯
性状一覧表 (10/17)

破砕帯名	建設箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センチ		写真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平		
F-⑤-2-1	H20-⑤-3 (鉛直)	12.26	12.32	N-S・高角度西傾斜	1.9	-	-	-	-	-	-	12	
F-⑤-2-2	H20-⑤-3 (鉛直)	20.79	20.84	N-S・中角度西傾斜	4.1	-	-	-	-	-	-	20	
	H19-No.18 (鉛直)	28.82	29.04	(未測定)	9.0	-	-	-	-	-	-	28	
		29										29	
		H19-No.17 (傾斜65°)	27.65	27.73	NE-SW・中角度西傾斜	7.0	-	-	-	-	-	-	27
F-⑤-2-3	H20-⑤-3 (鉛直)	24.26	24.30	NW-SE・中角度西傾斜	3.5	-	-	-	-	-	-	24	
F-⑤-2-4	H20-⑤-3 (鉛直)	33.24	33.43	NE-SW・中角度西傾斜	11.0	-	-	-	-	-	-	33	
F-⑤-2-5	H20-⑤-3 (鉛直)	33.55	33.58	N-S・中角度西傾斜	1.8	-	-	-	-	-	-	33	



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13破碎帯
性状一覧表 (11/17)

観測帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
F-①-3-6	H20-①-2 (鉛直)	46.52	48.59	NW-SE 高角度 西傾斜	2.0	0.2	無	-	-	-	-	46		47
F-①-3-8	H20-①-3 (鉛直)	51.80	52.04	NE-SW 中角度 西傾斜	19.0	-	-	-	-	-	-	51		52
												52		53
F-①-3-9	H20-①-1 (鉛直)	36.81	36.89	N-S 高角度 西傾斜	3.0	-	-	-	-	-	-	36		37
	H20-①-3 (鉛直)	57.72	58.02	N-S 高角度 西傾斜	13.0	-	-	-	-	-	-	57		58
												58		59



【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3~f-④-13 破碎帯
性状一覧表 (12/17)

観測番号	観測箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平			
F-④-4-1	H20-④-6 (鉛直)	22.00	22.35	N-S・高角度西傾斜	19.0	-	-	-	-	-	-	22		23
	H20-④-5 (鉛直)	55.58	55.85	NE-SW・高角度西傾斜	2.8	-	-	-	-	-	-	55		56
	H20-④-4 (鉛直)	13.08	13.43	N-S・中角度西傾斜	26.0	-	-	-	-	-	-	13		14
	H20-④-7 (鉛直)	64.25	64.43	N-S・中角度西傾斜	15.0	-	-	-	-	-	-	64		65
	H20-④-2 (鉛直)	25.00	26.35	N-S・中角度西傾斜	82.0	-	-	-	-	-	-	25 26		26 27
F-④-4-2	H20-④-4 (鉛直)	33.79	33.86	NE-SW・中角度西傾斜	3.4	2.0	無	-	-	-	-	33		34
	H20-④-2 (鉛直)	35.47	35.55	N-S・中角度西傾斜	5.0	-	-	-	-	-	-	35		36



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13 破碎帯
性状一覧表 (13/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-①-5-1	H20-①-5 (鉛直)	4.88	5.26	N-S・ 中角度 西傾斜	11.0	-	-	-	-	-	-	4 5 5 6
f-①-5-2	H20-①-5 (鉛直)	21.50	21.73	NW-SE・ 高角度 西傾斜	22.0	1.5	有	非平滑	-	-	-	21 22
f-①-5-3	H20-①-5 (鉛直)	53.64	54.00	NE-SW・ 高角度 西傾斜	11.0	0.5	有	非平滑	-	-	-	53 54
f-①-6-1	H20-①-6 (鉛直)	6.79	7.00	NW-SE・ 高角度 西傾斜	6.5	-	-	-	-	-	-	6 7
f-①-6-3	H20-①-6 (鉛直)	34.77	34.79	N-S・ 高角度 西傾斜	1.0	1.0	無	-	-	-	-	34 35
f-①-7-2	H20-①-7 (鉛直)	13.61	13.64	NE-SW・ 中角度 西傾斜	2.3	-	-	-	-	-	-	13 14
f-①-7-3	H20-①-7 (鉛直)	17.03	17.53	N-S・ 高角度 西傾斜	28.0	0.2	有	非平滑	-	-	-	17 18

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認点

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13破碎帯
性状一覧表 (14/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	実地センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断構造変形構造	平滑さ		掘進	水平	
f-⑤-7-4	H20-E-7 (鉛直)	20.73	21.68	N-S 中角度西傾斜	61.0	-	-	-	-	-	-	20 21 22
f-⑤-7-5	H20-E-7 (鉛直)	31.88	31.93	NE-SW 中角度西傾斜	4.2	4.2	無	-	-	-	-	31 32
f-⑤-7-6	H20-E-7 (鉛直)	38.67	38.86	NW-SE 中角度西傾斜	13.0	2.0	無	-	-	-	-	38 39
f-⑤-7-7	H20-E-7 (鉛直)	45.50	45.53	E-W 中角度北傾斜	2.4	-	-	-	-	-	-	45 46
f-E-7-8	H20-E-7 (鉛直)	50.79	50.82	NE-SW 中角度西傾斜	2.2	2.2	無	-	-	-	-	50 51

最新活動面

破砕幅

断層ガウジ

● 1: 断層

● 2: 確認線

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13破碎帯
性状一覧表 (15/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向 傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	実地センシス		写真		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平			
F-②-2	H21-No.② (傾斜45°)	32.00	32.83	N-S 高角度 東傾斜	43.0	1.9	有	非平滑	-	-	-	32		33
F-③-1	H21-No.③ (傾斜45°)	22.41	23.76	N-S 高角度 東傾斜	28.0	0.7	無	-	-	-	-	22		23
												23		24
F-③-2	H21-No.③ (傾斜45°)	105.95	106.32	N-S 高角度 西傾斜	30.3	0.1	有	非平滑	-	-	-	105		106
												106		107



【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13破碎帯
性状一覧表 (16/17)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	実位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-①-1	H21-No.4 (傾斜45°)	7.93	8.49	N-S・高角度 西傾斜	22.0	0.3	無	-	-	-	-	7 8 9
f-②-2	H21-No.4 (傾斜45°)	19.25	19.37	N-S・高角度 東傾斜	6.8	2.5	有	非平滑	-	-	-	19 20
f-③-3	H21-No.4 (傾斜45°)	20.78	21.38	NW-SE・高角度 東傾斜	40.7	2.3	無	-	-	-	-	20 21 22
f-④-7	H21-No.4 (傾斜45°)	61.19	61.22	NW-SE・高角度 北傾斜	2.0	0.5	有	非平滑	-	-	-	61 62
f-④-8	H21-No.4 (傾斜45°)	61.33	62.89	E-W・高角度 東傾斜	50.0	-	-	-	-	-	-	61 62 63

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 確認点

【破碎幅】
粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f-①-1-3～f-④-13破碎帯
性状一覧表 (17/17)

破碎帯番号	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
F-①-9	H21-No.④ (傾斜45°)	80.30	83.05	N-S ・ 高角度東傾斜	8.7	-	-	-	-	-	-	65
F-②-10	H21-No.④ (傾斜45°)	88.18	88.24	NW-SE ・ 高角度東傾斜	3.3	3.3	有	非平滑	-	-	-	68
F-③-11	H21-No.④ (傾斜45°)	109.57	110.85	NW-SE ・ 高角度東傾斜	55.0	0.4	無	-	-	正	左	109
												110
F-④-12	H21-No.④ (傾斜45°)	166.29	167.38	N-S ・ 90°	41.7	0.4	有	非平滑	-	西上り	右	166
												167
F-④-13	H21-No.④ (傾斜45°)	172.34	172.83	N-S ・ 高角度西傾斜	10.0	-	-	-	-	-	-	172



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

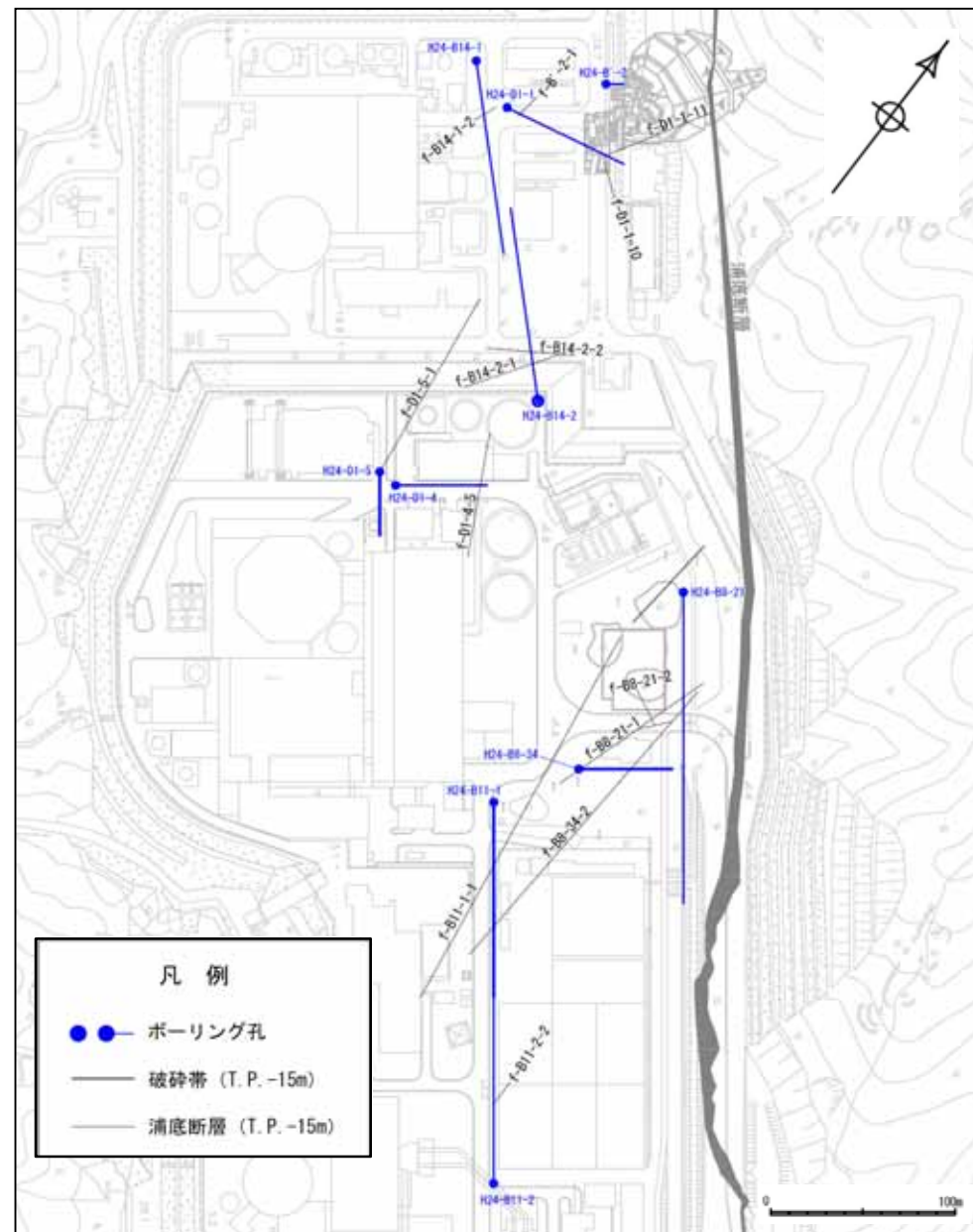
【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

13.f-b11-1-1~f-d1-5-1破碎帶

余白

13.f-b11-1-1~f-d1-5-1破碎帯

調査位置図



f-b11-1-1~f-d1-5-1破碎帯調査位置図

余白

13.f-b11-1-1~f-d1-5-1破砕帯
性状一覧表 (1/3)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位センス	平滑	写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ			
f-b11-1-1	H24-B11-1 (傾斜45°)	45.58	45.63	N-S 高角度 西傾斜	2.5	2.5	無	-	高角度 南	正	45
f-b11-2-2	H24-B11-2 (傾斜45°)	77.48	78.10	N-S 高角度 西傾斜	43.8	1.5	有	非平滑	低角度 北	-	77
											78
f-b14-1-2	H24-B14-1 (傾斜45°)	42.62	42.88	N-S 高角度 西傾斜	18.4	3.5	無	-	高角度 北	正	42
f-b14-2-1	H24-B14-2 (傾斜45°)	28.50	28.68	NE-SW 高角度 西傾斜	10.3	0.1	有	非平滑	中角度 南	正	28
f-b14-2-2	H24-B14-2 (傾斜45°)	38.10	38.27	NE-SW 高角度 南傾斜	13.0	-	-	-	-	-	38
f-b14-2-8	H24-B14-2 (傾斜45°)	101.47	101.52	N-S 高角度 東傾斜	4.5	-	-	-	-	-	101

凡 例

最新活動面

破砕幅

断層ガウジ

● 1: 断層

● 2: 試認域

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

13.f-b11-1-1~f-d1-5-1破碎帯

性状一覧表 (2/3)

破碎帯名	地質 箇所	破碎帯範囲		走向 ・ 傾斜	破碎幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位 方向	変位センス		写 真
		土層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断構造 変形構造	平滑さ		傾直	水平	
f-b8-21-1	H24-B8-21 (傾斜45°)	79.86	80.17	N-S ・ 高角度 西傾斜	18.7	0.8	有	非平滑	中角度 北	正	右	79 80 81
f-b8-21-2	H24-B8-21 (傾斜45°)	88.67	88.71	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	3.2	0.2	無	-	-	-	-	88 89
f-b8-34-2	H24-B8-34 (傾斜45°)	42.88	42.97	N-S ・ 高角度 東傾斜	5.2	-	-	-	高角度 南	-	-	42 43
f-b1-2-1	H24-B1-2 (傾斜70°)	10.48	11.27	N-S ・ 中角度 西傾斜	79.8	-	-	-	低角度 南	-	右	10 11 12
f-d1-1-10	H24-D1-1 (傾斜45°)	90.26	90.84	NW-SE ・ 高角度 北傾斜	15.0	0.5	有	非平滑	高角度 南	正	-	90 91
f-d1-1-11	H24-D1-1 (傾斜45°)	91.26	91.52	NE-SW ・ 高角度 東傾斜	11.8	1.2	無	-	高角度 南	正	-	91 92

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※1: 断層
			※2: 試掘坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

13.f-b11-1-1~f-d1-5-1破碎帯
 性状一覧表 (3/3)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		集積方向	変位センス		写真
		上部深度 (m)	下部深度 (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-d1-4-5	H24-D1-4 (傾斜45°)	61.47	61.52	N40°SE ・高角度 西傾斜	5.0	0.1	無	-	高角度 北	正	右	61
f-d1-5-1	H24-D1-5 (傾斜90°)	8.51	8.71	N-S ・高角度 西傾斜	10.0	0.6	有	非平滑	-	-	-	8
												62
												9

凡 例

: 最新活動面

: 破碎幅

: 断層ガウジ

● 1: 断層

● 2: 試掘域

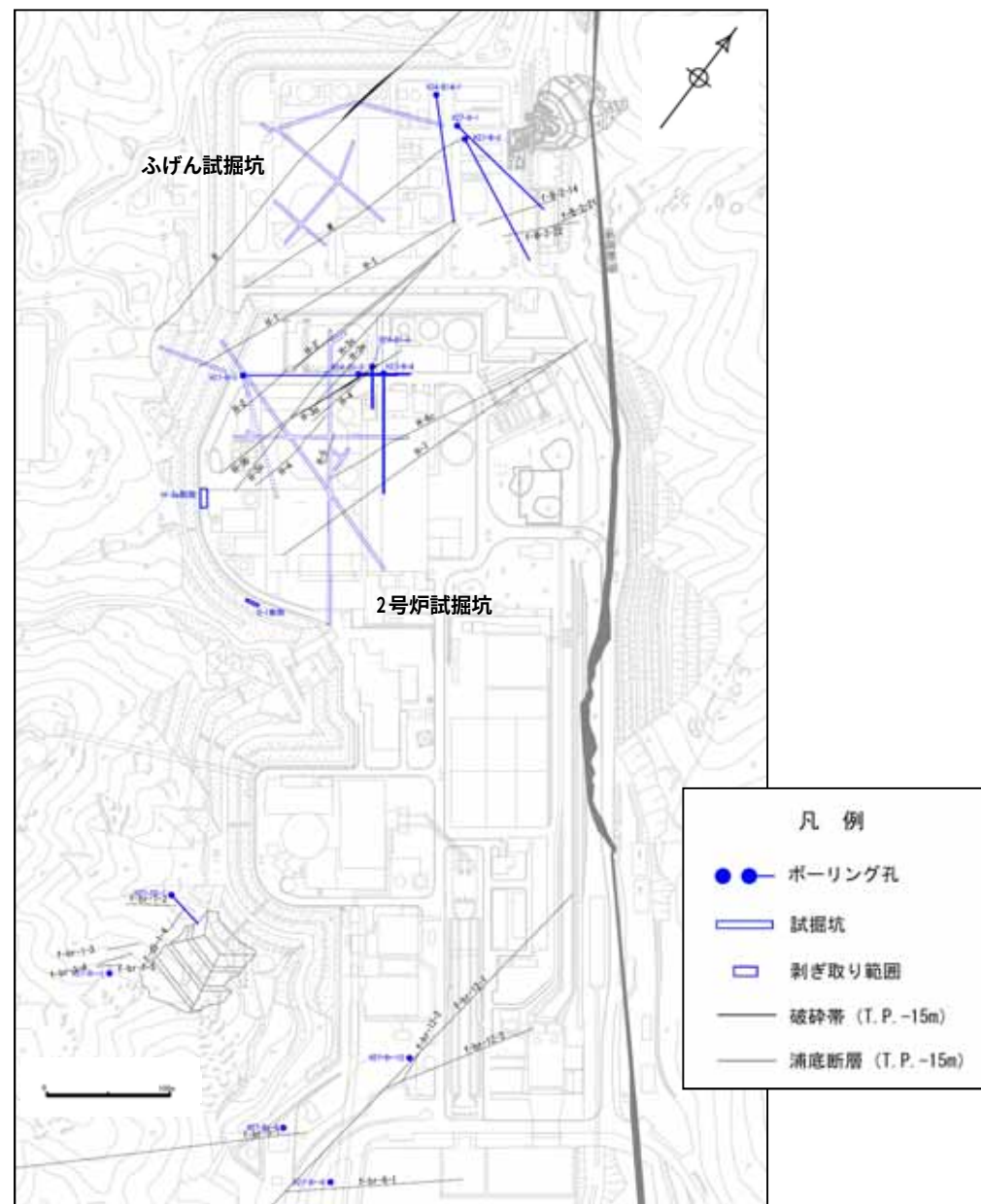
【破碎幅】
 粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，
 固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部
 の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
 平 滑：最新活動面が直線的なもの
 非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H－1～f-b-4-6破碎帶

余白

14.H-1～f-b-4-6破碎帯
調査位置図



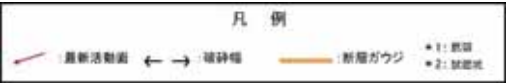
H-1～f-b-4-6破碎帯調査位置図

余白

14.H-1～f-b-4-6破碎帯
性状一覧表 (1/10)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては、ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては、薄片の観察による認定を基本としている。
- なお、上記以外の観察方法で認定したものについては、表中に注書きしている。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位センス	写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造・変形構造	平滑さ		
H-1	試験坑	-	-	NE-SW ・高角度 西傾斜	20.0	-	-	-	-	※ 写真及びスケッチ無し。
H-2	H27-B-3 (傾斜45°)	42.85	42.91	N-S ・高角度 西傾斜	8.6	-	-	-	右	42  43
	試験坑	-	-	N-S ・高角度 西傾斜	10.0	-	-	-	-	※ 写真及びスケッチ無し。
	試験坑	-	-	NE-SW ・高角度 西傾斜	150.0	-	-	-	-	※ 写真及びスケッチ無し。
H-2'	試験坑	-	-	N-S ・高角度 西傾斜	80.0	-	-	-	-	※ 写真及びスケッチ無し。
H-3b	試験坑	-	-	NE-SW ・高角度 西傾斜	25.0	-	-	-	-	 0.5m



【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1~f-b-4-6破碎帯 性状一覧表 (2/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (mm)	最新活動面		条線方向	実位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造・変形構造	平滑さ		傾度	水平	
H-3b/c	2号機道路	-	-	NE-QW 高角度 西傾斜	100	-	-	-	-	-	左	
H-3c	4Q7-B-3 (傾斜45°)	76.59	76.89	(未測定)	23.6	0.1	有	非平滑	中角度 南	正	左	
	試験坑	-	-	N-S 高角度 西傾斜	300	-	-	-	-	-	-	

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		1: 断層
			2: 試験坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-167

14.H-1~f-b-4-6破碎帶
性狀一覽表 (3/10)

試料番号	確認箇所	試料採取位置		走向・傾斜	試料幅 (cm)	断面ガウジの幅 (cm)	断面構造・産状構造	平滑さ	系統方向	方位センサス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)							傾斜	傾角	
H-3c(s)	2号検出器	-	-	N-S・高角度西傾斜	5.0	-	-	-	-	正	右	 
H-3d	H24-D1-3 (傾斜45°)	13.94	14.06	NE-SW・高角度西傾斜	6.0	1.0	有	非平滑	低角度北	-	左	
	H24-D1-5 (傾斜50°)	10.19	10.21	N-S・高角度西傾斜	1.3	0.5	有	非平滑	低角度北	-	左	
	H27-B-3 (傾斜45°)	99.50	99.68	N-S・高角度東傾斜	12.0	-	-	-	中角度北	-	-	

粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

平滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-168

凡 例

最新活動面 ← → 破砕帯 新層ガウジ

● 1: 原研
● 2: 試験地

14.H-1~f-b-4-6破碎帯
性状一覧表 (4/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条理方向	方位センス		写真
		上盤深さ (m)	下盤深さ (m)				せん断構造・変形構造	平滑さ		傾度	水準	
H-3f	試験坑	-	-	NE-SW 高角度 西傾斜	30.0	-	-	-	-	-	-	
H-3e	H27-D-3 (傾斜45°)	91.35	91.54	(未測定)	16.9	1.0	無	-	0	-	-	
	試験坑	-	-	N-S 高角度 西傾斜	30.0	-	-	-	-	-	-	※ 写真及びスケッチ無し。
H-4	試験坑	-	-	N-S 高角度 西傾斜	40.0	-	-	-	-	-	-	※ 写真及びスケッチ無し。
H-4'	H24-D1-3 (傾斜45°)	14.41	14.52	NE-SW 高角度 西傾斜	5.5	1.9	有	非平滑	低角度 北	-	右	
	H24-D1-5 (傾斜50°)	10.45	10.50	NE-SW 高角度 西傾斜	4.8	0.1	有	非平滑	-	-	-	
	H27-D-3 (傾斜45°)	115.00	115.12	NE-SW 高角度 西傾斜	8.5	-	-	-	-	-	-	

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 試験坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1～f-b-4-6破碎帯 性状一覧表 (5/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造・変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
H-4	試験坑	-	-	N-S 高角度 西傾斜	40.0	-	+	-	中央部 南	正	右	
H-5	試験坑	-	-	NW-SE 高角度 西傾斜	30.0	-	+	-	中央部 南	正	右	※ 写真及びスケッチ無し
H-6a	H27-0-4 (傾斜45°)	64.65	64.81	N-S 高角度 東傾斜	19.8	-	+	-	中央部 南	正	右	
	試験坑	-	-	NE-SW 高角度 西傾斜	20.0	-	+	-	中央部 南	正	右	

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層 ※ 2: 試験坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1～f-b-4-6破碎帯
性状一覧表 (6/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	方位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造・変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
H-7	H27-B-4 (傾斜45°)	93.13	93.22	N10E 70W	7.9	1.2	有	非平滑	40R	正	左	93 
	試験坑	-	-	N25E 70W	50.0	-	-	-	-	-	-	
	2号法面	-	-	N0E 77W	16.0	1.0	有 #1	平滑 #1	SL	-	左	 H-7 破碎帯 

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	方位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造・変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
B	ふげん試験坑	-	-	N45°E 高角度 西傾斜	15.0	-	-	-	-	-	-	※ 写真及びスケッチ無し。



【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部
の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

参考2-171

14.H-1~f-b-4-6破碎帯 性状一覧表 (7/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		集積方向	変位センス		写真
		上部深さ (m)	下部深さ (m)				せん断構造	平滑さ		鉛直	水平	
M	H24-B14-1 (傾斜45°)	81.09	81.22	NE-SW・高角度西傾斜	8.7	-	-	-	-	-	-	61  62
	ふいすん試験坑	-	-	N-S・高角度西傾斜	8.7	-	-	-	-	-	-	由：写真及びスケッチ無し。
f-b-1-2	H27-B-1 (鉛直)	59.18	59.27	NE-SW・中角度西傾斜	6.4	0.7	有	非平滑	高角度南	正	-	59  60
f-b-1-3	H27-B-1 (鉛直)	67.83	70.76	NE-SW・高角度西傾斜	137.2	7.5	有	非平滑	中角度北	正	右	67  68
												68  69
												69  70
												70  71
												71  72
f-b-1-4	H27-B-1 (鉛直)	85.90	87.85	NE-SW・高角度西傾斜	78.3	0.5	有	非平滑	低角度北	-	右	85  86
												86  87
												87  88

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 試験坑

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1~f-b-4-6破碎帯
性状一覧表 (8/10)

破砕帯名	建設 箇所	破砕帯範囲		走向・ 傾斜	破砕幅 (cm)	断層 ガウジの幅 (cm)	最新活動面		変位 方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)				せん断構造 ・変位構造	平滑さ		鉛直	水平	
F-br-1-S	H27-B-r-1 (和直)	93.36	93.45	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	2.5	0.8	有	非平滑	低角度 南	-	右	93
F-br-2-1	H27-B-r-5 (和直)	50.48	51.18	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	14.1	0.8	有	非平滑	高角度 南	正	-	50
												51
F-br-6-1	H27-B-r-6 (和直)	33.02	34.01	NE-SW ・ 高角度 西傾斜	30.8	1.2	有	非平滑	高角度 南	正	-	33
												34
F-br-12-1	H27-B-r-12 (和直)	58.40	58.38	N-S ・ 高角度 西傾斜	8.8	2.0	有	非平滑	低角度 北	-	右	58
												59
F-br-12-2	H27-B-r-12 (和直)	71.95	72.72	N-S ・ 高角度 西傾斜	6.7	0.7	有	非平滑	低角度 北	-	右	71
												72

凡 例			
	最新活動面		破砕幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認地

【破砕幅】
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1~f-b-4-6破碎帯
性状一覧表 (9/10)

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向・傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	方位センス		写真
		上層深度 (m)	下層深度 (m)				せん断構造・変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-b-12-3	H27-D5-12 (鉛直)	89.88	90.32	NE-SW・高角度西傾斜	13.2	1.7	有	非平滑	90	正	-	89 90 91
f-b5-1-4	H27-D5-1 (傾斜45°)	35.41	35.55	N-S・高角度西傾斜	4.1	0.3	無	-	高角度北	正	-	35 36
f-b-1-18	H27-D5-1 (傾斜45°)	85.38	85.41	NE-SW・高角度東傾斜	2.3	-	-	-	90	-	-	85 86
f-b-2-14	H27-D5-2 (傾斜45°)	88.88	88.94	NE-SW・高角度西傾斜	5.4	2.0	有	非平滑	低角度北	正	右	88 89
f-b-2-20	H27-D5-2 (傾斜45°)	134.15	134.23	N-S・高角度東傾斜	7.4	2.0	有	非平滑	高角度南	正	-	134 135
f-b-2-21	H27-D5-2 (傾斜45°)	152.10	152.15	NE-SW・高角度東傾斜	4.0	0.3	無	-	中角度南	正	右	152 153
f-b-2-22	H27-D5-2 (傾斜45°)	154.53	154.71	NE-SW・高角度東傾斜	15.7	0.5	有	非平滑	高角度北	正	-	154 155

凡 例			
	最新活動面		破碎幅
	断層ガウジ		※ 1: 断層
			※ 2: 確認点

【破碎幅】
粘土状破碎部、砂状破碎部、角礫状破碎部、
固結した粘土状破碎部、固結した砂状破碎部、固結した角礫状破碎部の
合計の幅とし、破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平 滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H-1～f-b-4-6破碎帯
 性状一覧表 (10/10)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向・傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジの幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真	
		上部深さ (cm)	下部深さ (cm)				せん断構造・変位構造	平滑さ		転動	水平		
f-b-4-6	1027-B-4 (傾斜45°)	108.44	108.71	N-S 真角造 東傾斜	236	-	-	-	-	-	-		109

凡 例

最新活動面

← → 破碎幅

断層ガウジ

● 1: 断層

● 2: 試掘域

【破碎幅】

粘土状破碎部，砂状破碎部，角礫状破碎部，固結した粘土状破碎部，固結した砂状破碎部，固結した角礫状破碎部の合計の幅とし，破碎部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】

平 滑：最新活動面が直線的なもの

非平滑：最新活動面が湾曲するもの

余白